

令和5年度  
広報・情報取得に関するアンケート調査  
結果報告書

令和5年9月  
諏訪市総務部秘書広報課

## 調査の目的と概要

### 1 調査の目的

近年、情報の取得手段は多様化しており、SNSやオンラインニュースの配信などインターネットを利用したメディアの普及が進み、スマートフォンなどでいつでも情報が取得できるようになるなど、時代は大きく変化している。

そのような状況の中、諏訪市民の市政情報の取得手段や、市が運用する広報媒体（広報紙、ホームページ、SNSなど）の利用状況及び市の広報への要望や意見を把握・分析し、今後の市の広報業務や運用する広報媒体の改善に向けた資料とするため、本調査を実施した。

### 2 調査の概要

本調査は、令和5年度市民満足度調査とあわせて実施した。

#### (1) 調査方法

- ・調査様式（回答用紙）を郵送で対象に送付。同封の返信用封筒またはながの電子申請サービス（インターネット）により回収。

#### (2) 調査対象

- ・令和5年4月1日現在、市内在住の18歳以上の男女3,000人
- ・住民基本台帳から無作為抽出（性別、年代、地区別の人口構成比率により按分）

#### (3) 調査期間

- ・令和5年4月26日（水）調査様式発送、令和5年5月15日（月）締切

### 3 調査項目

- ・情報の取得方法について（3項目）
- ・広報紙「広報すわ」について（6項目）
- ・諏訪市ホームページについて（9項目）
- ・諏訪市が運用するSNSについて（4項目）
- ・行政チャンネル「かりんちゃんねる」について（2項目）
- ・自由記載

### 4 回収結果

【送付数】	3,000件
【回収数】	867件（内訳 郵送：636件 電子申請：231件）
【回収率】	28.9%

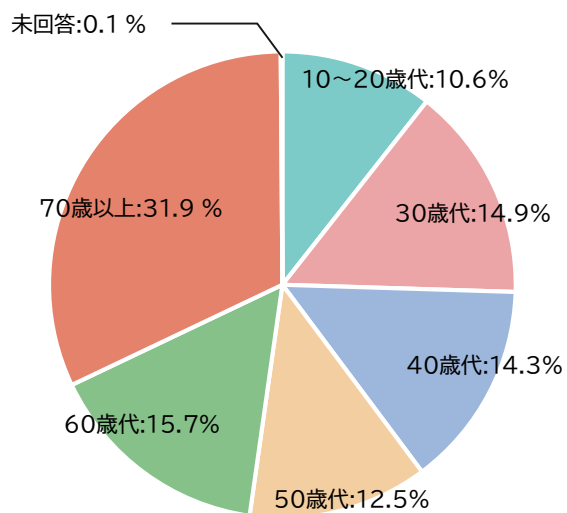
### 5 報告書の見方

- ・集計結果の割合は、端数処理の関係上100%にならない場合があります。
- ・各設問における割合は、回答者数を母数として集計しています（設問ごと n で表記）。

# 回答者の属性

## 1 年代

n=867



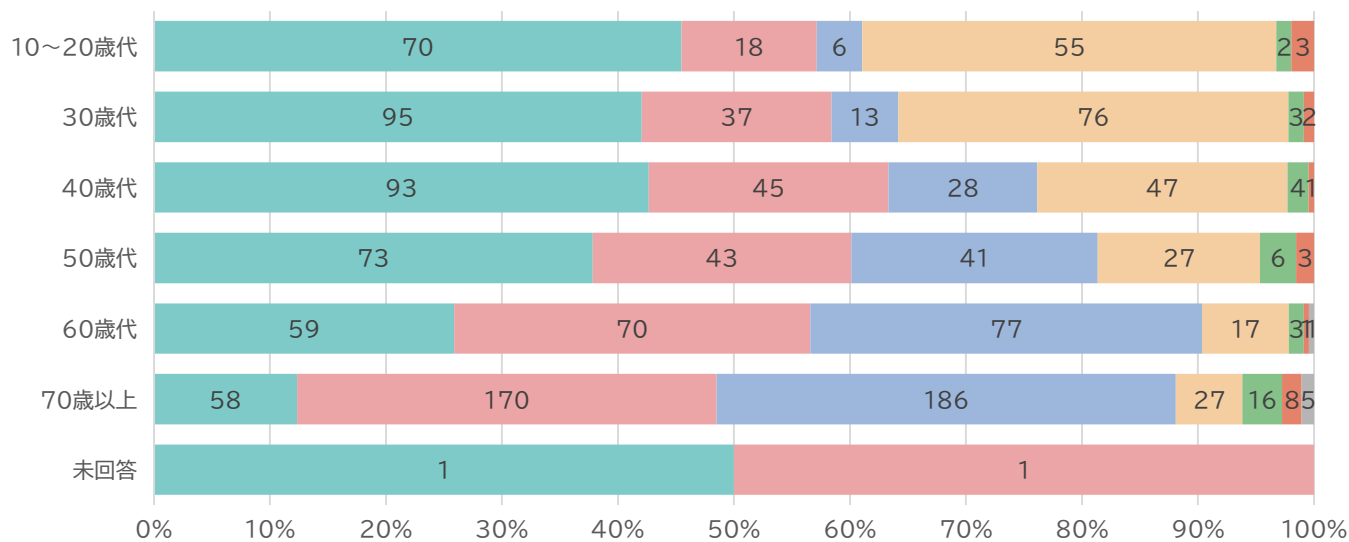
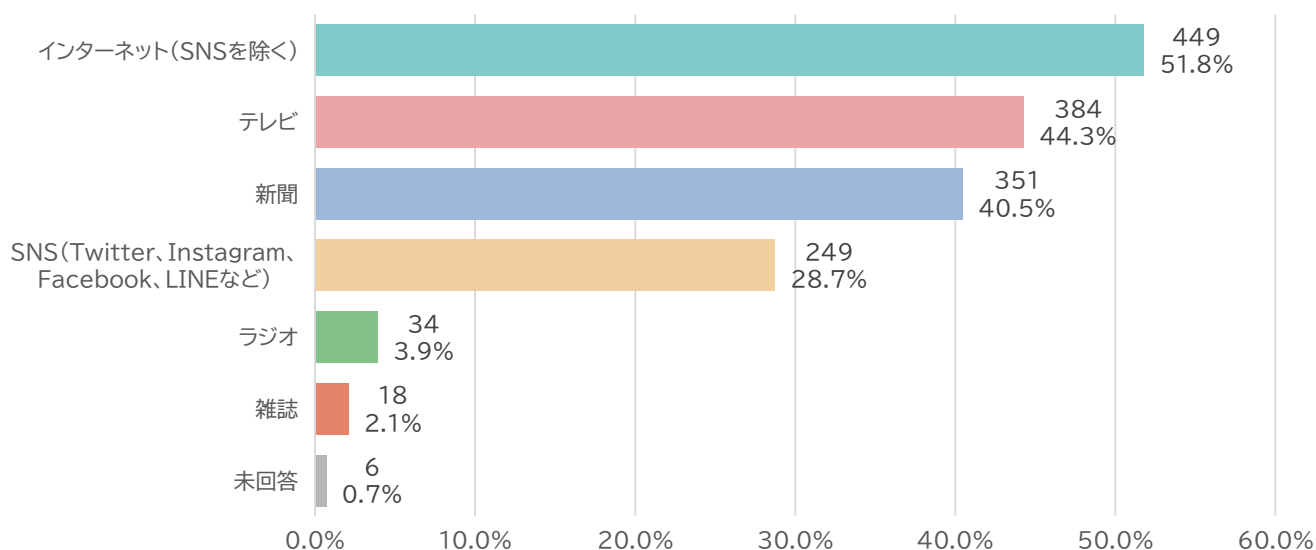
年代	回答数	割合
10~20歳代	92	10.6%
30歳代	129	14.9%
40歳代	124	14.3%
50歳代	108	12.5%
60歳代	136	15.7%
70歳以上	277	31.9%
未回答	1	0.1%

## 情報の取得方法について

問1. 普段の情報取得手段の中で、利用頻度が高いものは何ですか？  
当てはまるものを2つまで選択

n=867

- 「インターネット（SNSを除く）」449人（51.8%）が最も多く、次いで「テレビ」384人（44.3%）、「新聞」351人（40.5%）となった。
- 60歳代以上では「インターネット（SNSを除く）」の割合が低くなり、「新聞」、「テレビ」の割合が高い傾向にある。
- 40歳代以下では、「インターネット（SNSを除く）」に次いで「SNS（Twitter、Instagram、Facebook、LINEなど）」の割合も高い傾向にあり、特に10～30歳代では約3割を占めた。

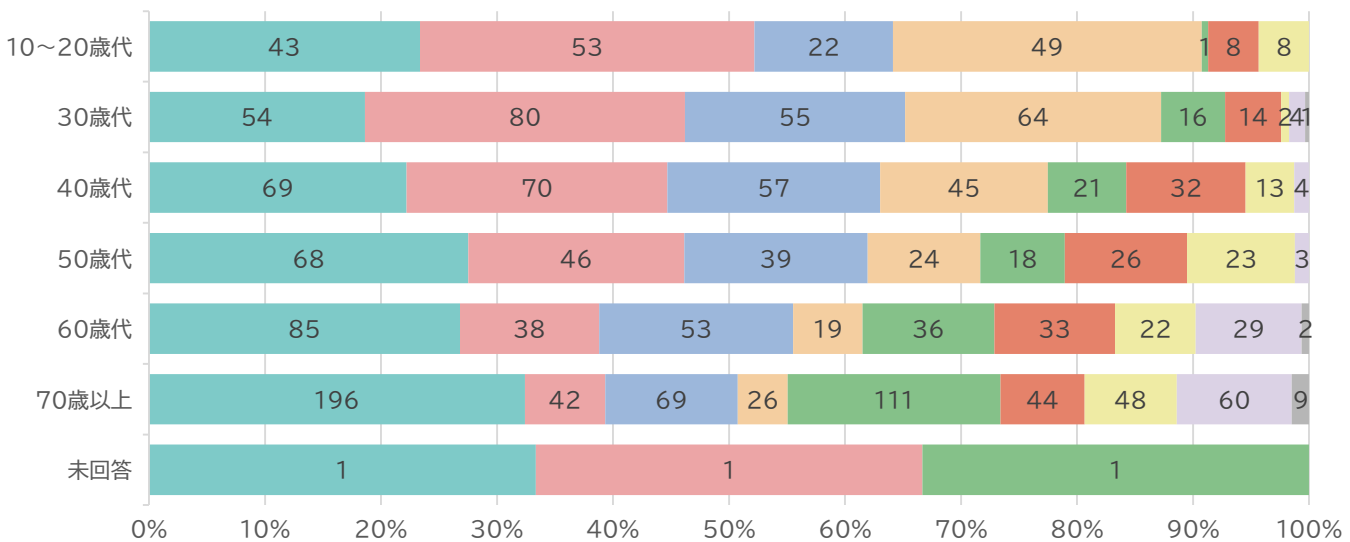
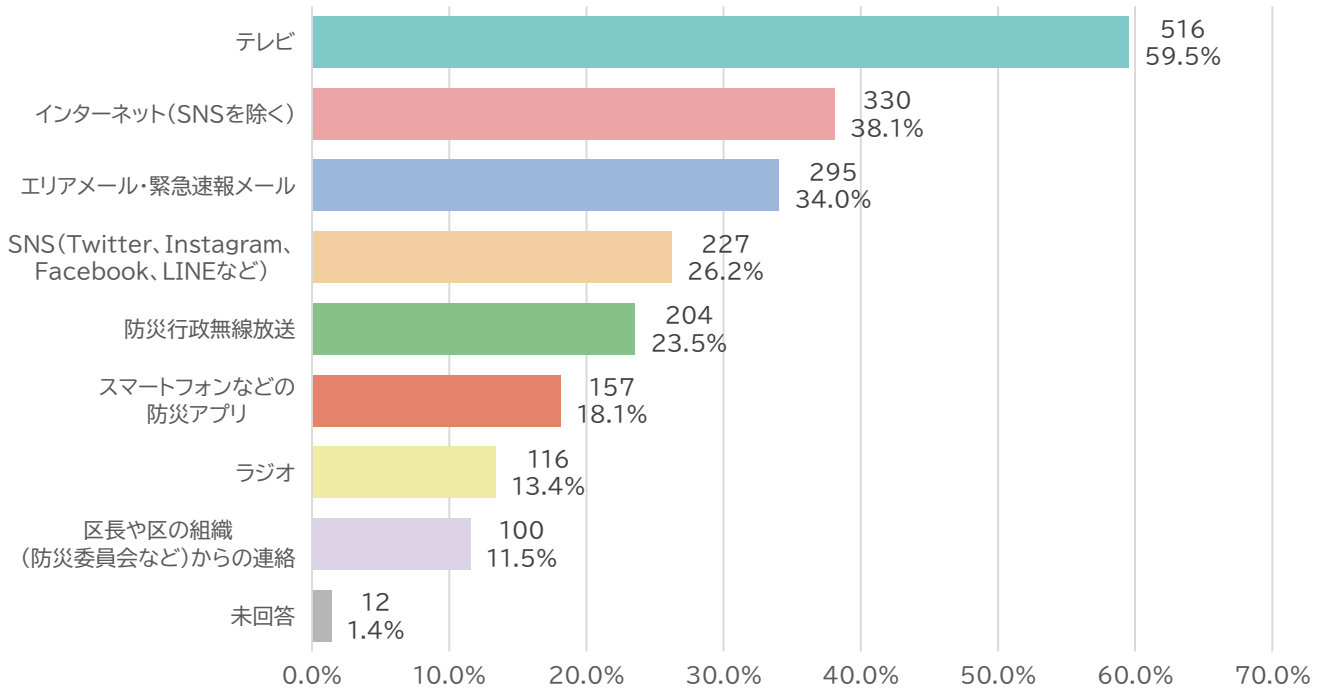


■ インターネット(SNSを除く)
 ■ テレビ
 ■ 新聞
 ■ SNS(Twitter, Instagram, Facebook, LINEなど)
 ■ ラジオ
 ■ 雑誌
 ■ 未回答

問2.災害時の情報取得手段の中で、利用頻度が高いものは何ですか？  
 当てはまるものを3つまで選択

n=867

- 「テレビ」516人（59.5%）が最も多く、次いで「インターネット（SNSを除く）」330人（38.1%）、「エリアメール・緊急速報メール」295人（34.0%）となった。
- 若い年代、特に10~30歳代で「インターネット（SNSを除く）」、「SNS（Twitter、Instagram、Facebook、LINEなど）」の割合が高い傾向にある。
- 「防災行政無線放送」の割合は年代と比例して高くなり、70歳以上では「テレビ」に次ぐ割合となった。

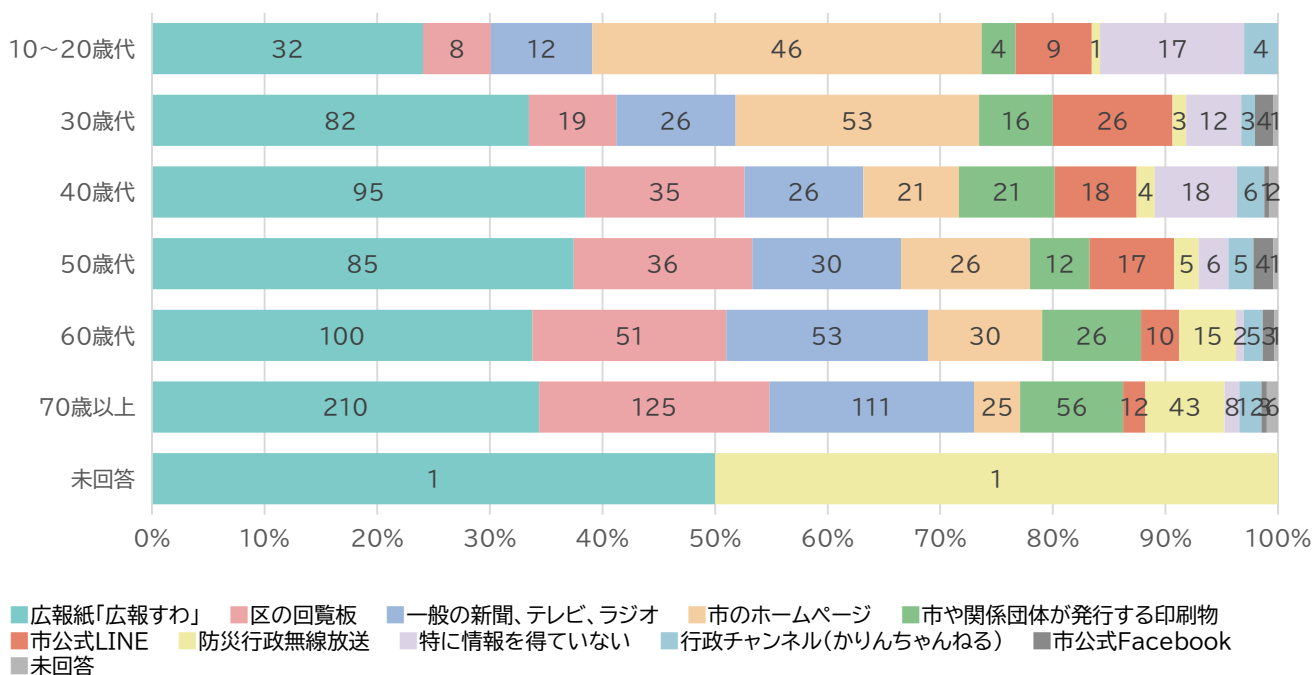
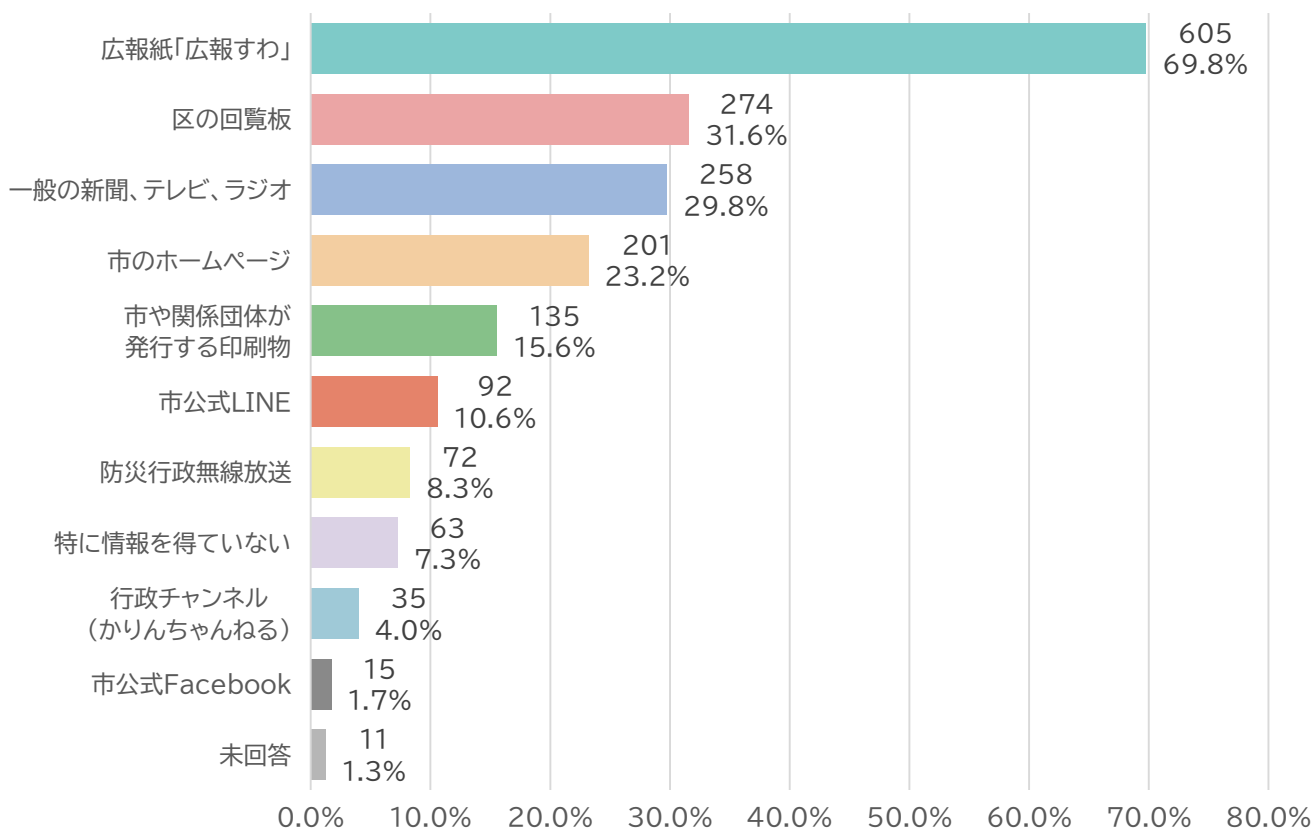


■ テレビ
 ■ インターネット(SNSを除く)
 ■ エリアメール・緊急速報メール
 ■ SNS(Twitter, Instagram, Facebook, LINEなど)
 ■ 防災行政無線放送
 ■ スマートフォンなどの防災アプリ
 ■ ラジオ
 ■ 区長や区の組織(防災委員会など)からの連絡
 ■ 未回答

問3.市の情報（事業やイベント、お知らせなど）を得る際に利用頻度の高い手段は何ですか？  
当てはまるものを3つまで選択

n=867

- 「広報紙「広報すわ」」605人（69.8%）が最も多く、次いで「区の見板」274人（31.6%）、「一般の新聞、テレビ、ラジオ」258人（29.8%）となった。
- 全ての年代で「広報紙「広報すわ」」が高い割合を占めている。
- 40歳代、50歳代、70歳以上では「広報すわ」に次いで、「区の見板」の割合が高い傾向にある。
- 10~30歳代では「市のホームページ」の割合も高くなっており、特に10~20歳代では「広報すわ」を抑え最も高い割合となった。

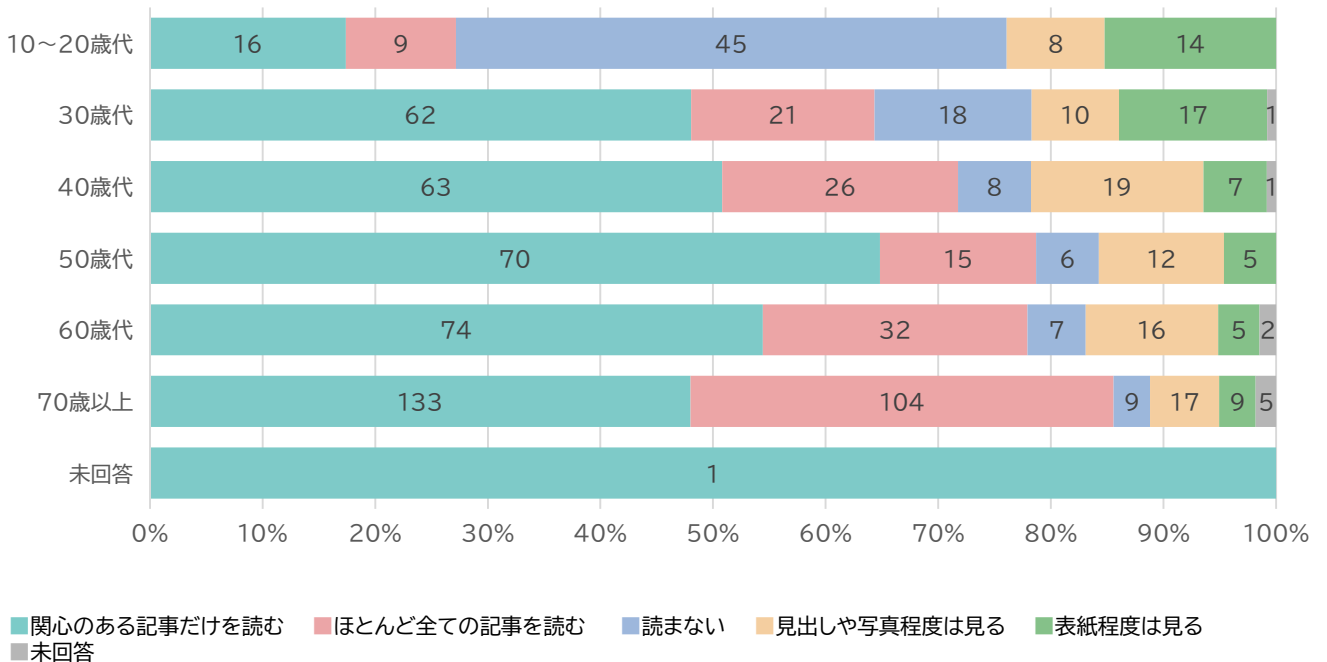
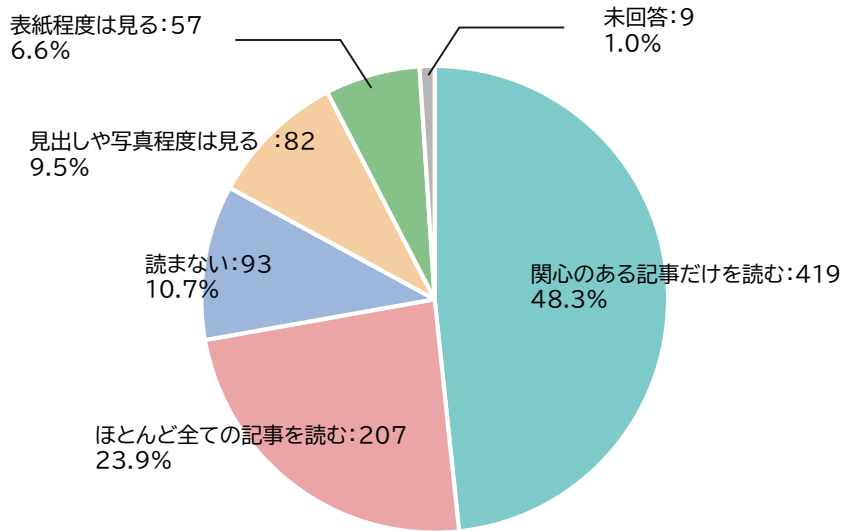


# 広報紙「広報すわ」について

## 問4. 広報すわを読んでいますか？

n=867

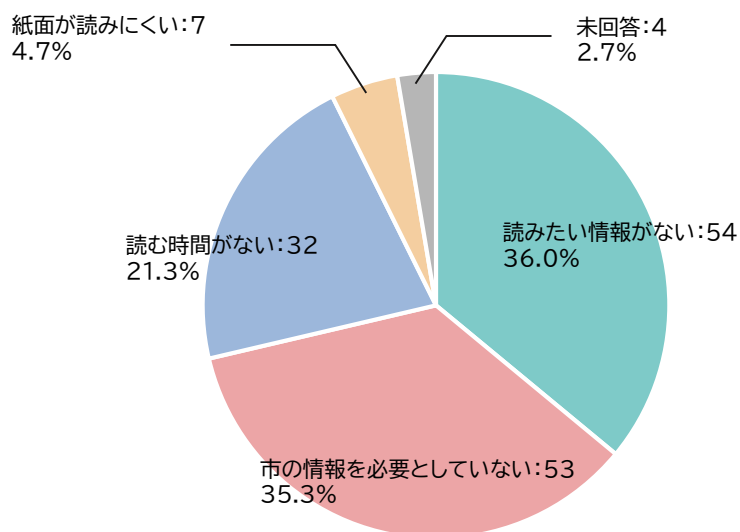
- 「関心のある記事だけを読む」419人（48.3%）、「ほとんど全ての記事を読む」207人（23.9%）、「見出しや写真程度は見る」82人（9.5%）を合わせると708人（81.7%）となった。
- 30歳代～70歳以上の各年代で、「関心のある記事だけを読む」、「ほとんど全ての記事を読む」の割合が大半を占める一方、10～20歳代では「読まない」が約5割を占めている。



## 問5.広報すわを読まない理由は何ですか？

問4で、「表紙程度は見る」、「読まない」と回答した人 n=150

- 「読みたい情報がない」54人（36.0%）が最も多く、次いで「市の情報を必要としていない」53人（35.3%）、「読む時間がない」32人（21.3%）となった。



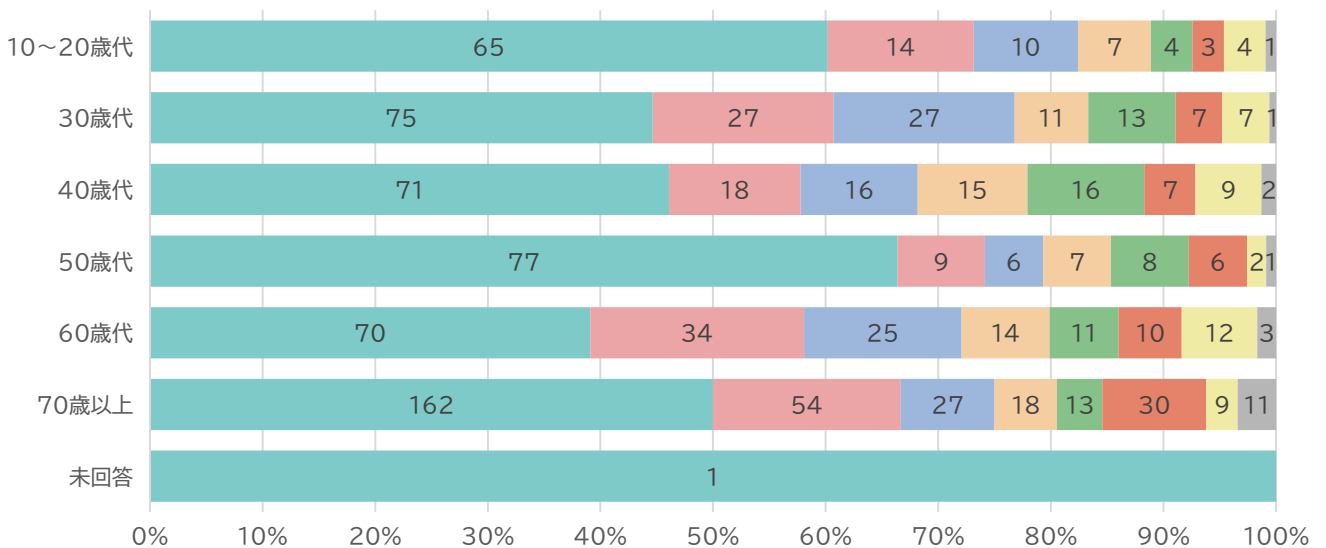
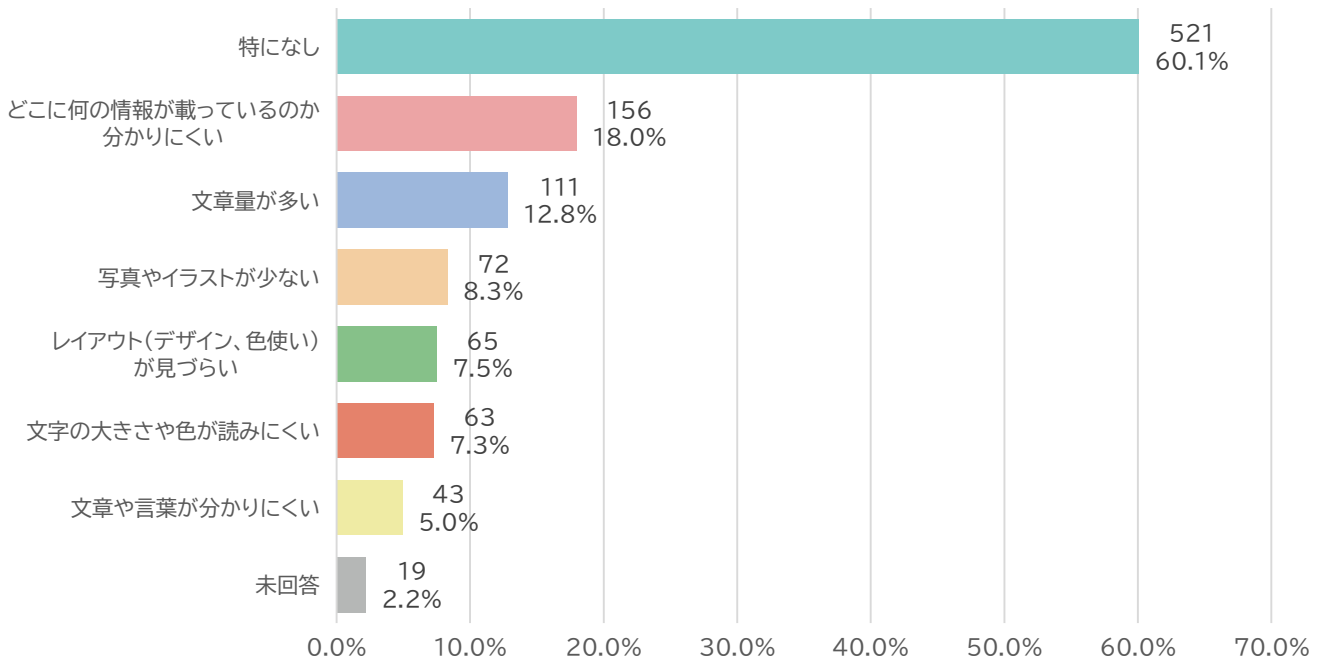


問6.広報すわの紙面について改善してほしいことはありますか？

当てはまるものをいくつでも選択

n=867

- 「特になし」521人（60.1%）を除くと、「どこに何の情報が載っているのかわかりにくい」156人（18.0%）が最も多く、次いで「文章量が多い」111人（12.8%）、「写真やイラストが少ない」72人（8.3%）となった。
- どの年代でも「特になし」が最も多いが、それを除くと「どこに何の情報が載っているのかわかりにくい」、「文章量が多い」が高い傾向にある。

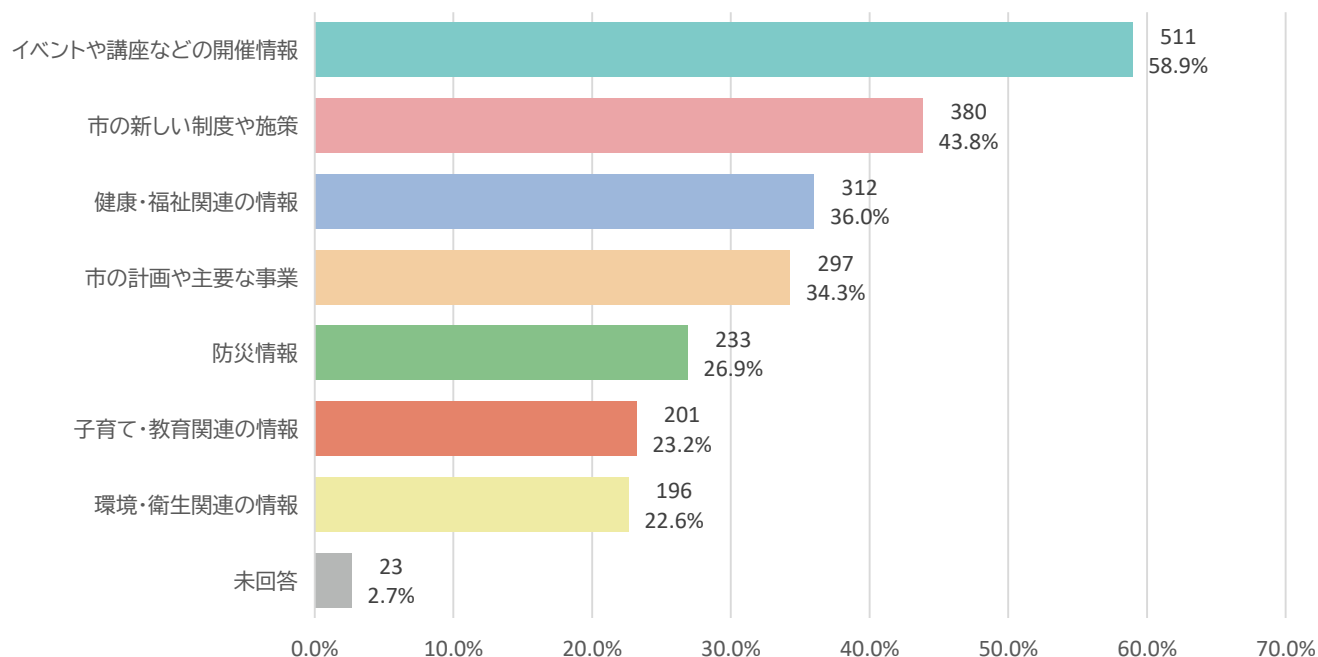


■特になし ■どこに何の情報が載っているのかわかりにくい ■文章量が多い ■写真やイラストが少ない  
 ■レイアウト(デザイン、色使い)が見づらい ■文字の大きさや色が読みにくい ■文章や言葉がわかりにくい ■未回答

問7.広報すわで読みたい記事、得たい情報は何か？  
当てはまるものをいくつでも選択

n=867

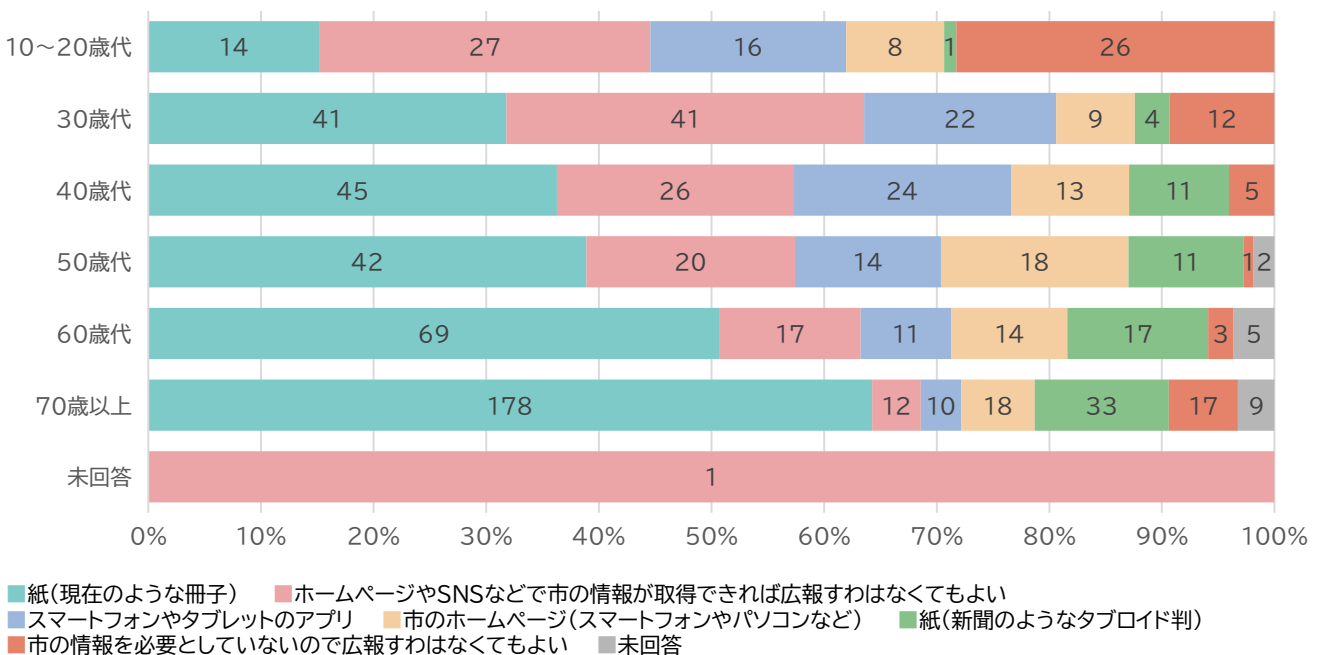
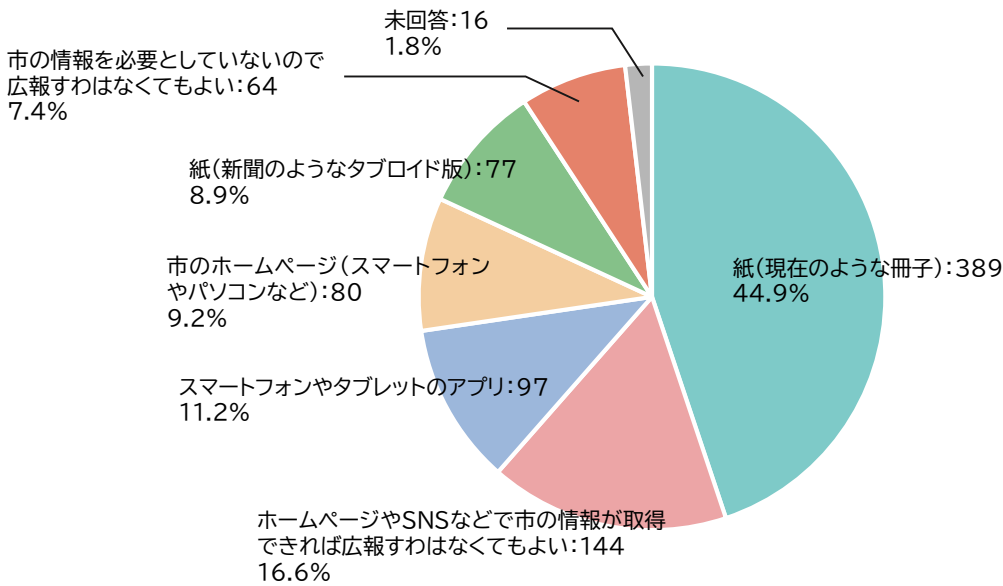
- 「イベントや講座などの開催情報」511人（58.9%）が最も多く、次いで「市の新しい制度や施策」380人（43.8%）、「健康・福祉関連の情報」312人（36.0%）となった。
- 「イベントや講座などの開催情報」は他の項目に比べて割合が高く、約6割が回答した。



問8.今後、広報すわをどのような形式で読みたいですか？

n=867

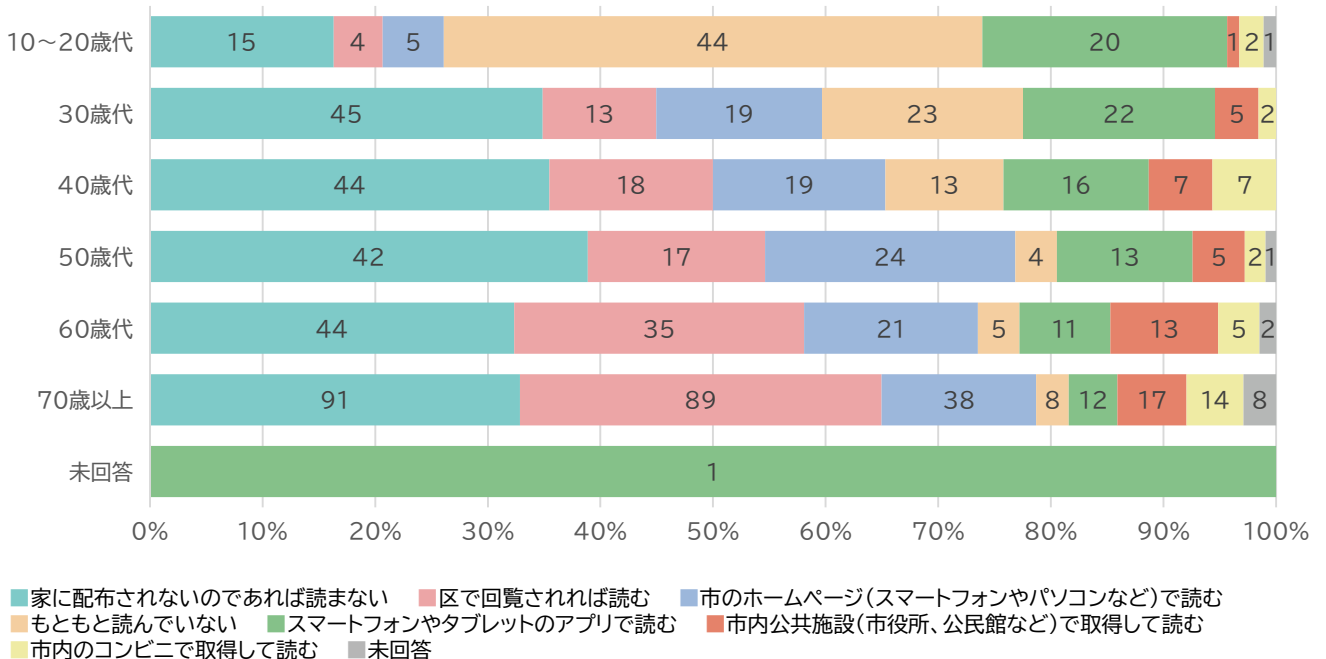
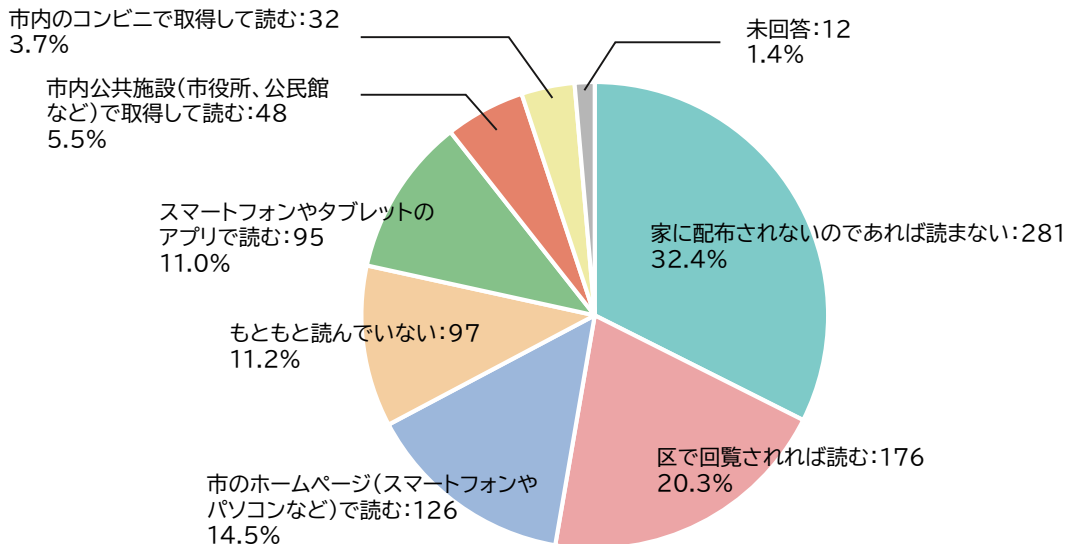
- 「紙（現在のような冊子）」389人（44.9%）が最も多く、次いで「ホームページやSNSなどで市の情報が取得できれば広報すわはなくてもよい」144人（16.6%）、「スマートフォンやタブレットのアプリ」97人（11.2%）となった。
- 年代が高いほど「紙（現在のような冊子）」の割合は高くなり、70歳代以上では6割以上を占めている。10～30歳代では「ホームページやSNSなどで市の情報が取得できれば広報すわはなくてもよい」の割合も高く、特に10～20歳代では「紙（現在のような冊子）」を上回っている。
- 10～50歳代では「ホームページやSNSなどで市の情報が取得できれば広報すわはなくてもよい」、「スマートフォンやタブレットのアプリ」、「市のホームページ（スマートフォンやパソコンなど）」を合わせた割合が、「紙（現在のような冊子）」を超える結果となった。
- 10～20歳代では「市の情報を必要としていないので広報すわはなくてもよい」が約3割を占めた。



## 問9.広報すわが家に配布されなくなった場合、広報すわを読みますか？

n=867

- 「家に配布されないのであれば読まない」281人（32.4%）が最も多く、次いで「区で回覧されれば読む」176人（20.3%）、「市のホームページ（スマートフォンやパソコンなど）で読む」126人（14.5%）となった。
- 30～70歳以上のどの年代でも「家に配布されないのであれば読まない」が最も高いが、それに次いで30～50歳代では「市のホームページ（スマートフォンやパソコンなど）で読む」や「スマートフォンやタブレットのアプリで読む」が高く、60歳代～70歳以上では「区で回覧されれば読む」が高い傾向にある。



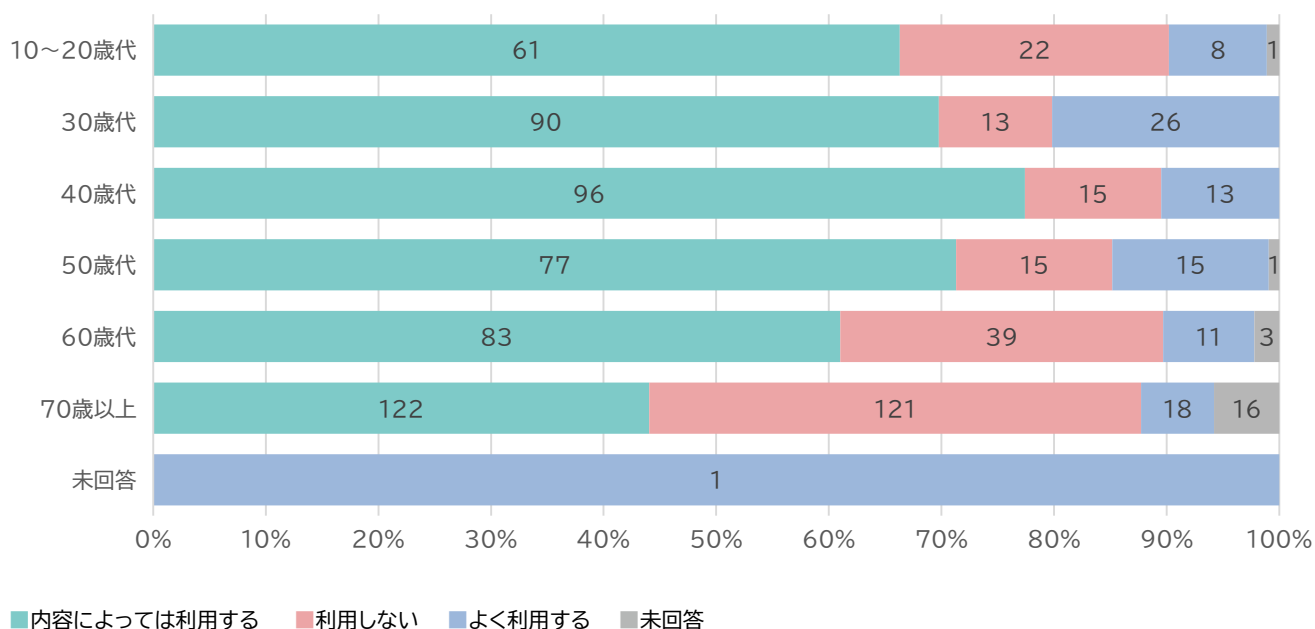
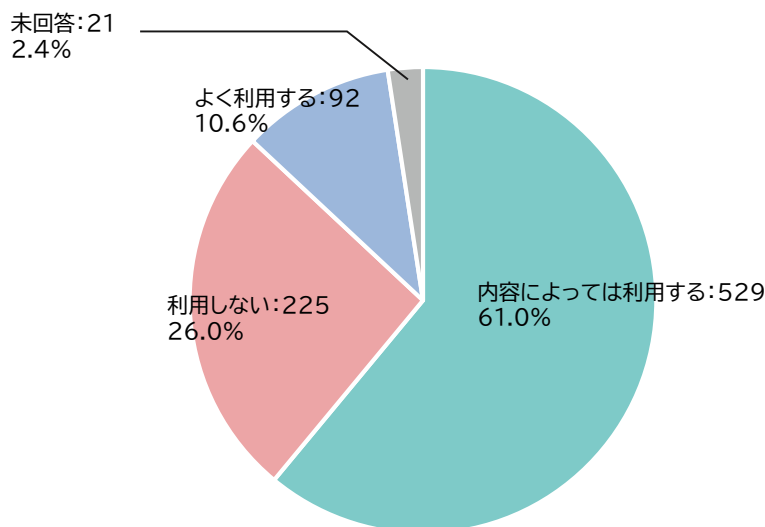
■家に配布されないのであれば読まない ■区で回覧されれば読む ■市のホームページ(スマートフォンやパソコンなど)で読む ■もともと読んでいない ■スマートフォンやタブレットのアプリで読む ■市内公共施設(市役所、公民館など)で取得して読む ■市内のコンビニで取得して読む ■未回答

## 諏訪市ホームページについて

### 問10.市の情報を取得したいと思ったときに、市のホームページを利用しますか？

n=867

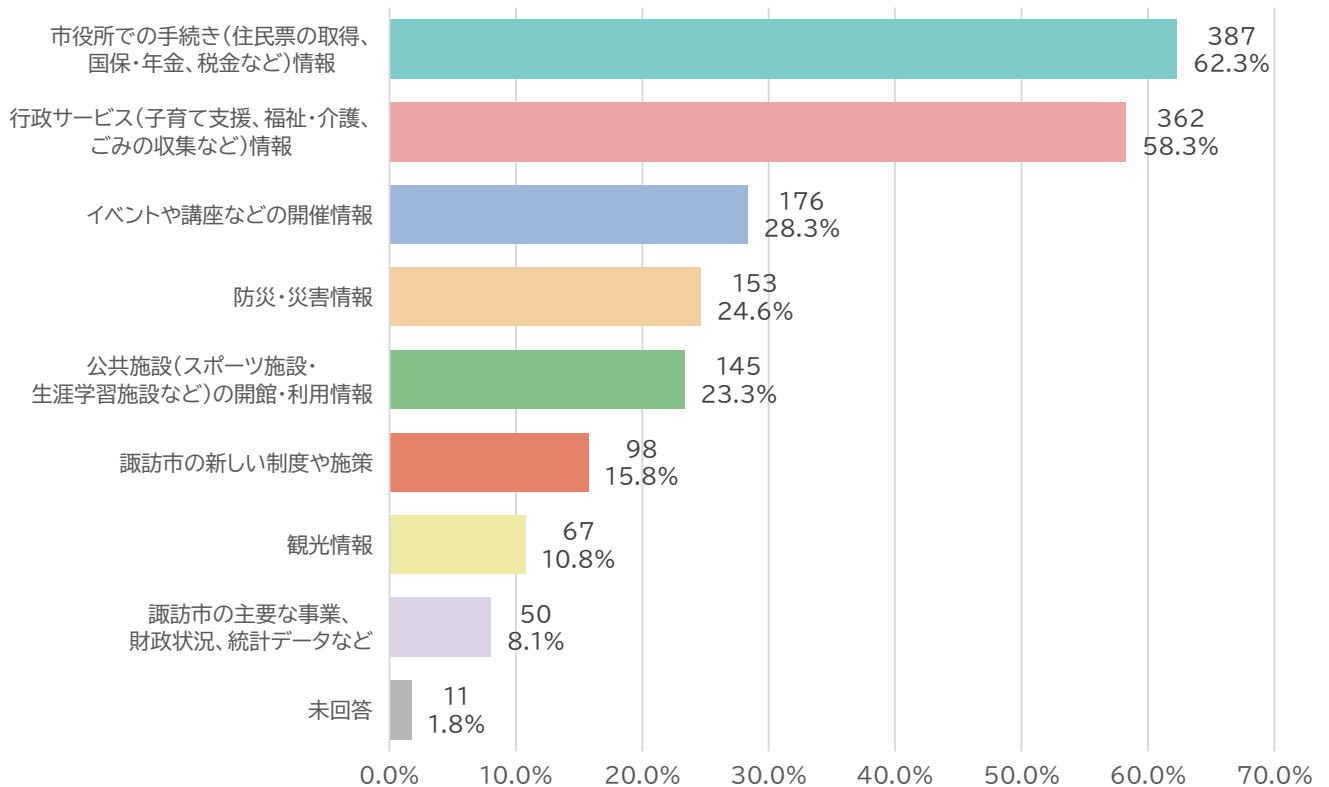
- 「内容によっては利用する」529人（61.0%）、「よく利用する」92人（10.6%）を合わせると621人（71.6%）となった。
- 10～60歳代の各年代で、「内容によっては利用する」が6割を超えている。30歳代と50歳代では約7割、40歳代では約8割と高い割合を占めている。
- 70歳以上においても「内容によっては利用する」、「よく利用する」を合わせると5割を超える結果となった。



問11.市のホームページをどのような情報を得るために利用していますか？  
 当てはまるものをいくつでも選択

問10で、「よく利用する」、「内容によっては利用する」と回答した人 n=621

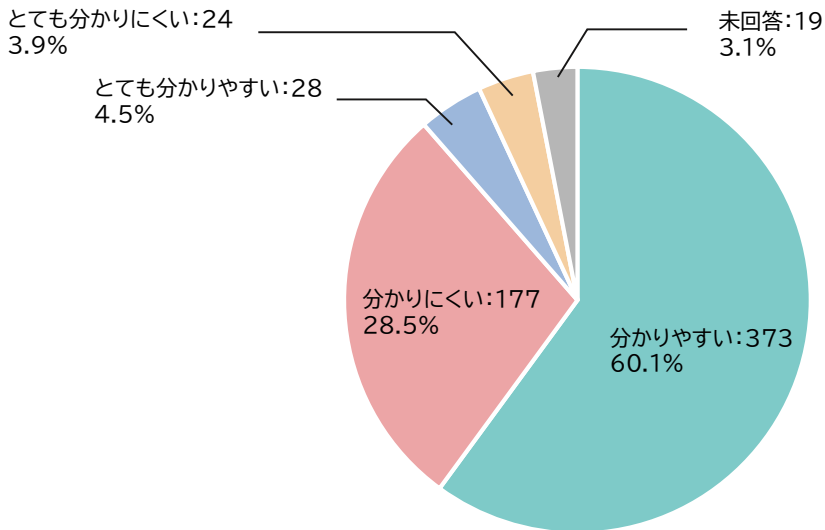
- 「市役所での手続き（住民票の取得、国保・年金、税金など）情報」387人（62.3%）が最も多く、次いで「行政サービス（子育て支援、福祉・介護、ごみの収集など）情報」362人（58.3%）、「イベントや講座などの開催情報」176人（28.3%）となった。
- 「市役所での手続き（住民票の取得、国保・年金、税金など）情報」、「行政サービス（子育て支援、福祉・介護、ごみの収集など）情報」は他の項目に比べて割合が高く、約6割が回答した。



## 問12.市のホームページに掲載している情報の内容は分かりやすいですか？

問10で、「よく利用する」、「内容によっては利用する」と回答した人 n=621

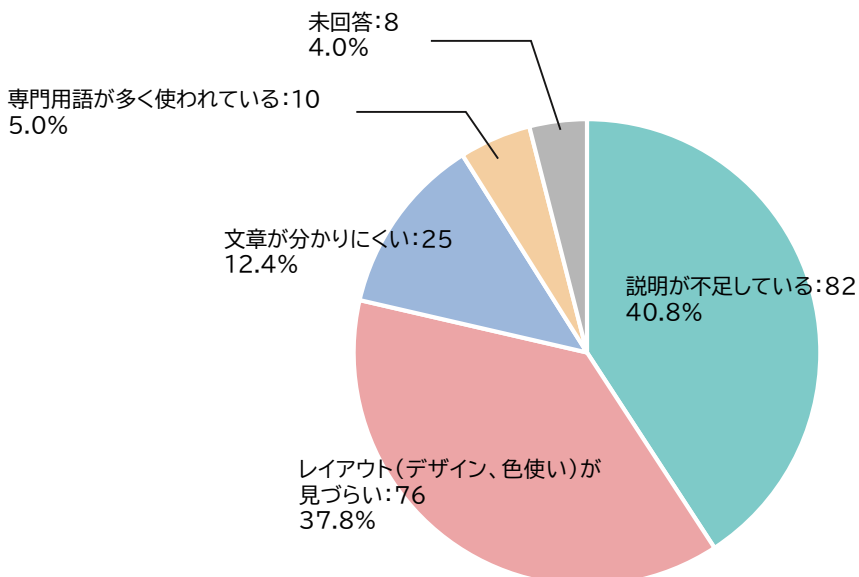
- 「分かりやすい」373人（60.1%）と「とても分かりやすい」28人（4.5%）を合わせると401人（64.6%）となり、「分かりにくい」177人（28.5%）と「とても分かりにくい」24人（3.9%）を合わせた201人（32.4%）を上回った。



## 問13.内容が分かりにくかった理由は何ですか？

問12で、「分かりにくい」、「とても分かりにくい」と回答した人 n=201

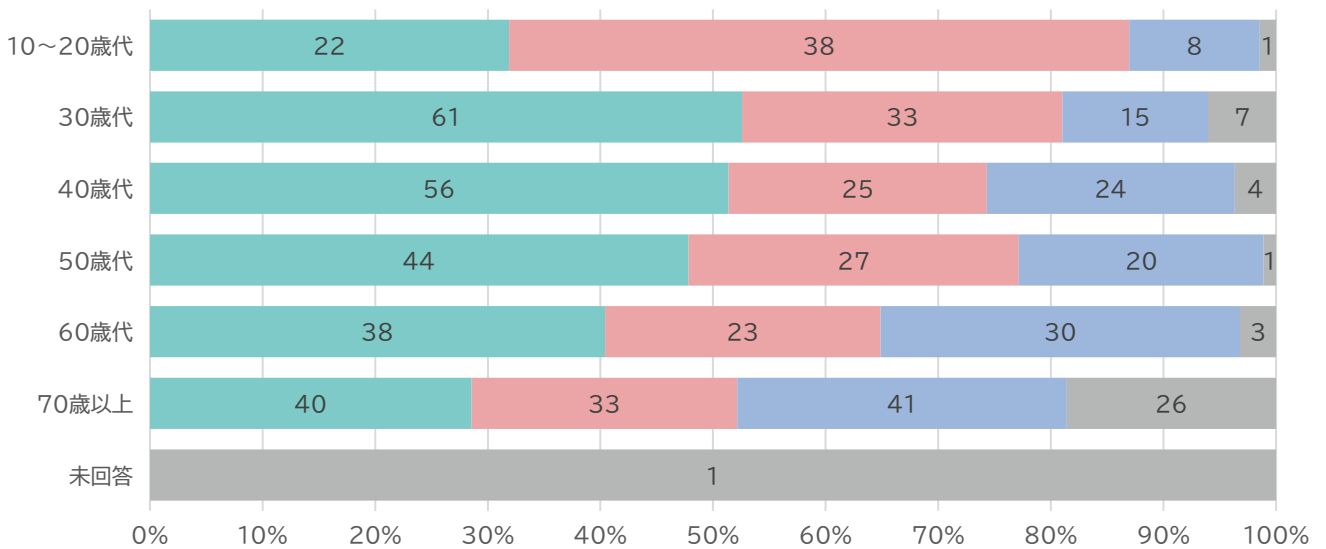
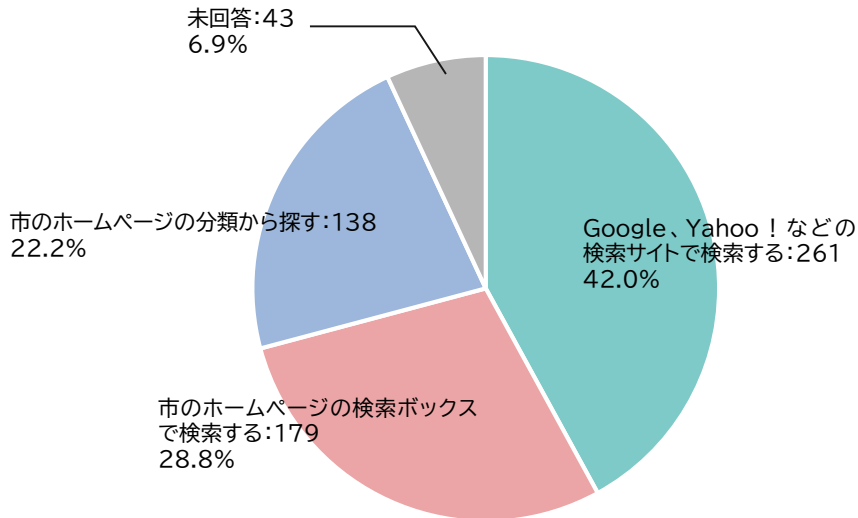
- 「説明が不足している」82人（40.8%）と「レイアウト（デザイン、色使い）が見づらい」76人（37.8%）がそれぞれ約4割を占めている。



## 問14.市のホームページに掲載している情報をどのように探しますか？

問10で、「よく利用する」、「内容によっては利用する」と回答した人 n=621

- 「Google、Yahoo!などの検索サイトで検索する」261人（42.0%）が最も多く、次いで「市のホームページの検索ボックスで検索する」179人（28.8%）となった。
- 60歳代～70歳以上では「市のホームページの分類から探す」の割合が他の年代と比べ高く、70歳代では最も高い割合を占めた。



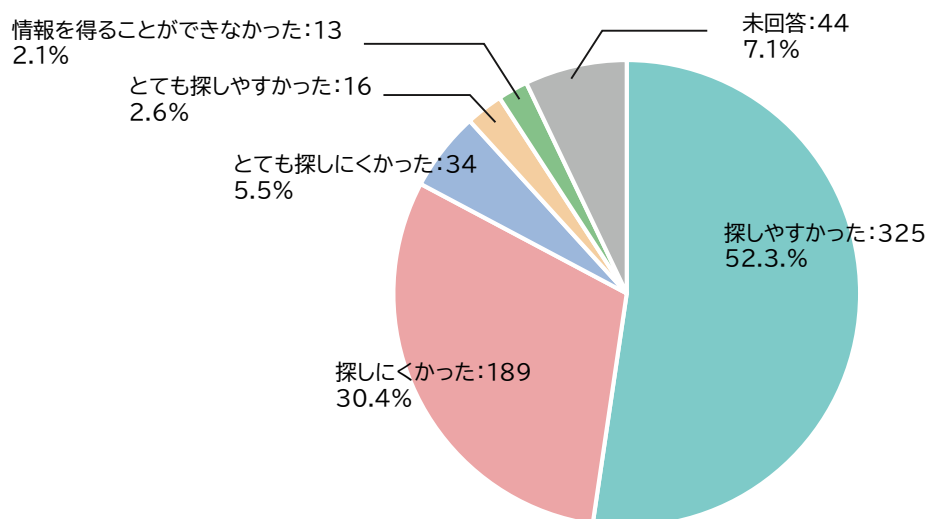
■ Google、Yahoo!などの検索サイトで検索する
 ■ 市のホームページの検索ボックスで検索する
 ■ 市のホームページの分類から探す
 ■ 未回答



## 問15.市のホームページであなたが得たい情報は探しやすいかったですか？

問10で、「よく利用する」、「内容によっては利用する」と回答した人 n=621

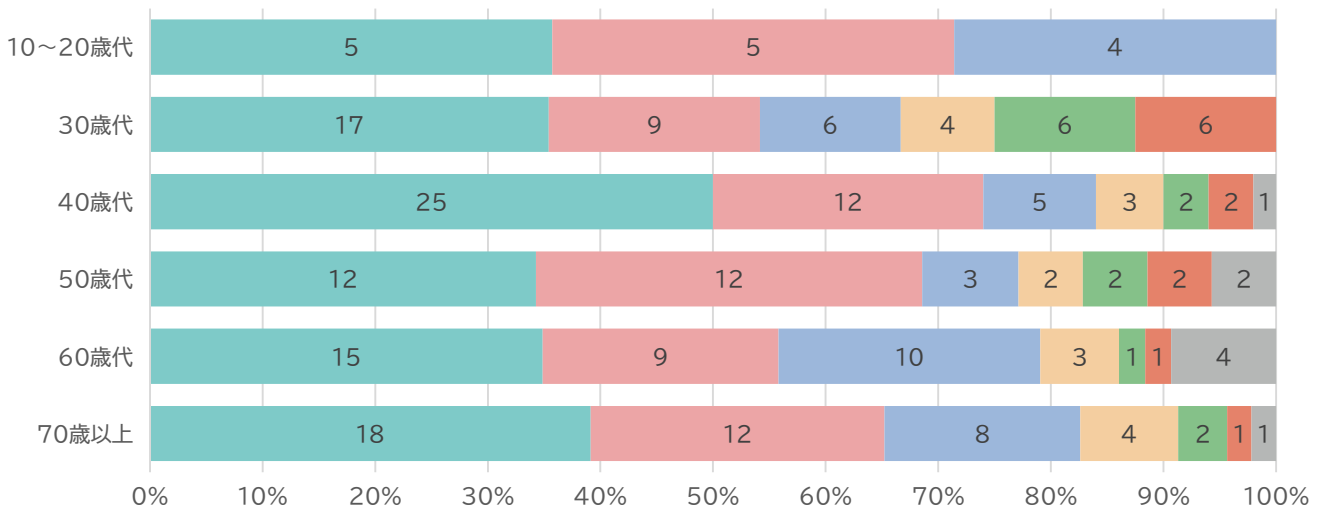
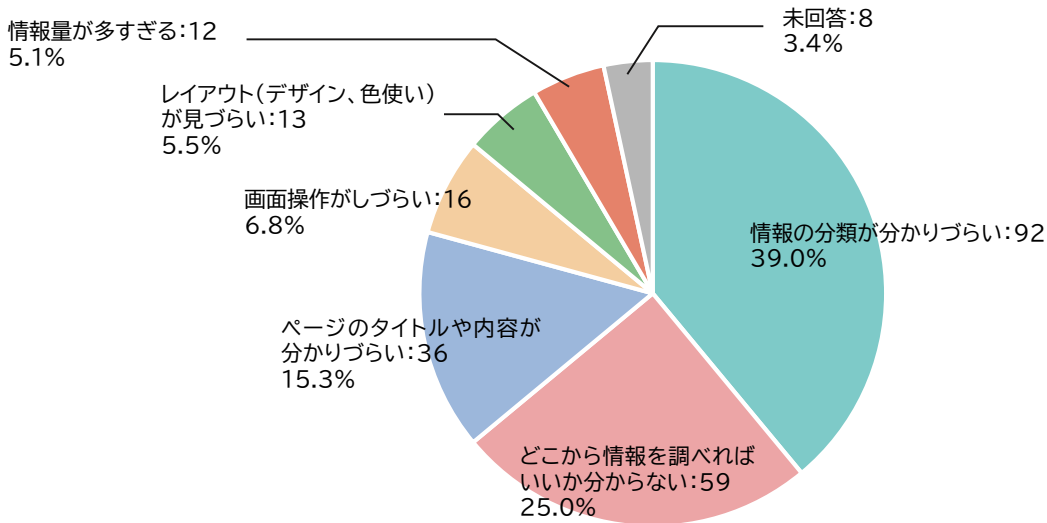
- 「探しやすいかった」325人（52.3%）と「とても探しやすいかった」16人（2.6%）を合わせると341人（54.9%）となり、「探しにくかった」189人（30.4%）、「とても探しにくかった」34人（5.5%）、「情報を得ることができなかった」13人（2.1%）を合わせた236人（38.0%）を上回った。



## 問16.市のホームページで情報が探しにくかった理由は何ですか？

問15で、「探しにくかった」、「とても探しにくかった」、「情報を得ることができなかった」と回答した人 n=236

- 「情報の分類が分かりづらい」92人（39.0%）が最も多く、次いで「どこから情報を調べればいいのか分からない」59人（25.0%）、「ページのタイトルや内容が分かりづらい」36人（15.3%）となった。
- 30歳代～70歳以上の各年代で「情報の分類が分かりづらい」が最も高い割合を占めており、他の項目と比べても割合が高い傾向にある。

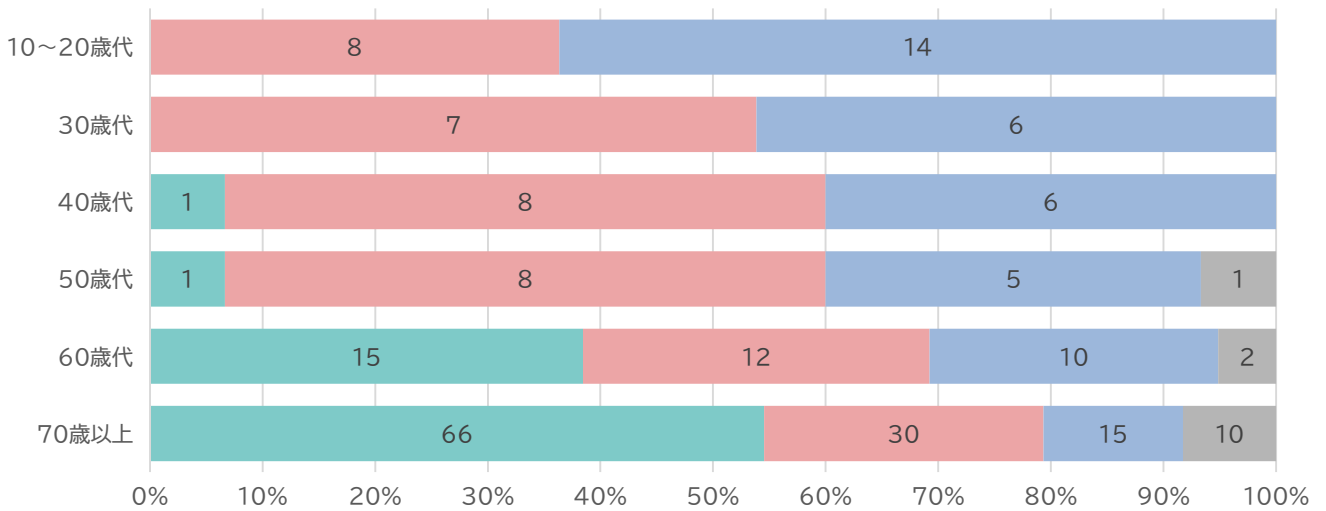
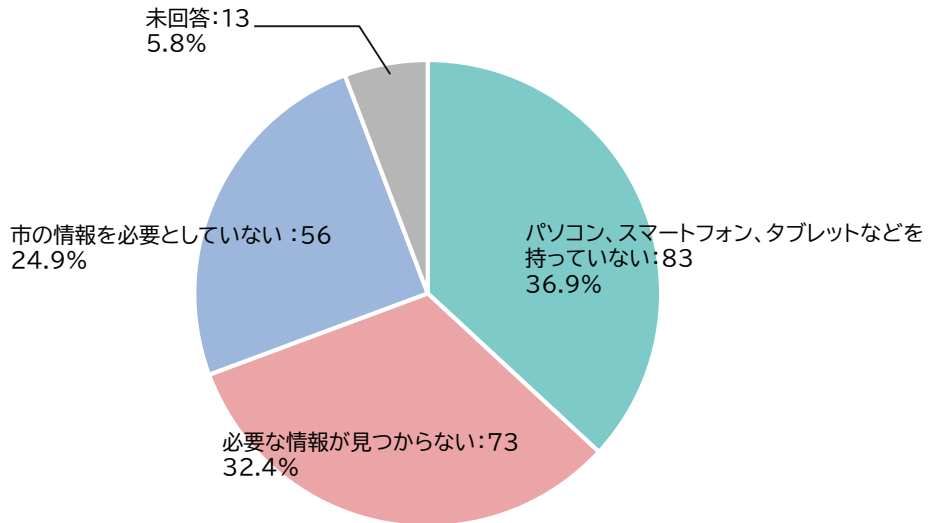


■ 情報の分類が分かりづらい
 ■ どこから情報を調べればいいのか分からない
 ■ ページのタイトルや内容が分かりづらい
 ■ 画面操作がしづらい
 ■ レイアウト(デザイン、色使い)が見づらい
 ■ 情報量が多すぎる
 ■ 未回答

## 問17.市のホームページを利用しない理由は何ですか？

問10で、「利用しない」と回答した人 n=225

- 「パソコン、スマートフォン、タブレットなどを持っていない」83人（36.9%）が最も多かったが、各項目に大きな差はなかった。
- 60歳代～70歳以上では「パソコン、スマートフォン、タブレットなどを持っていない」が最も高い割合を占めたが、その他の年代では「必要な情報が見つからない」と「市の情報を必要としていない」が同程度の割合となった。

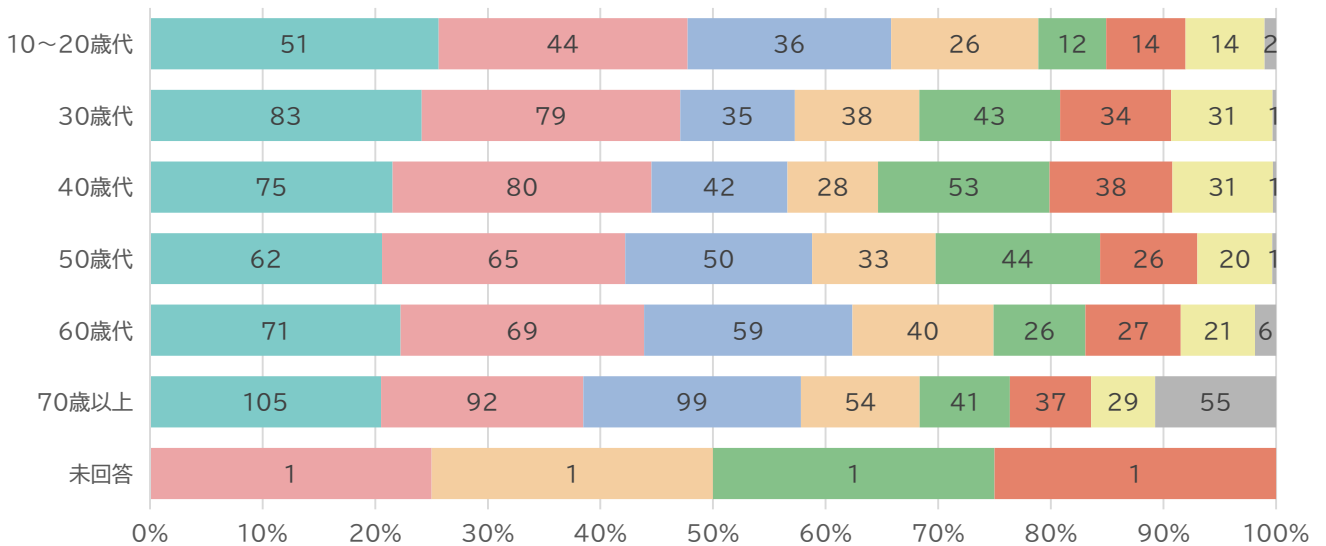
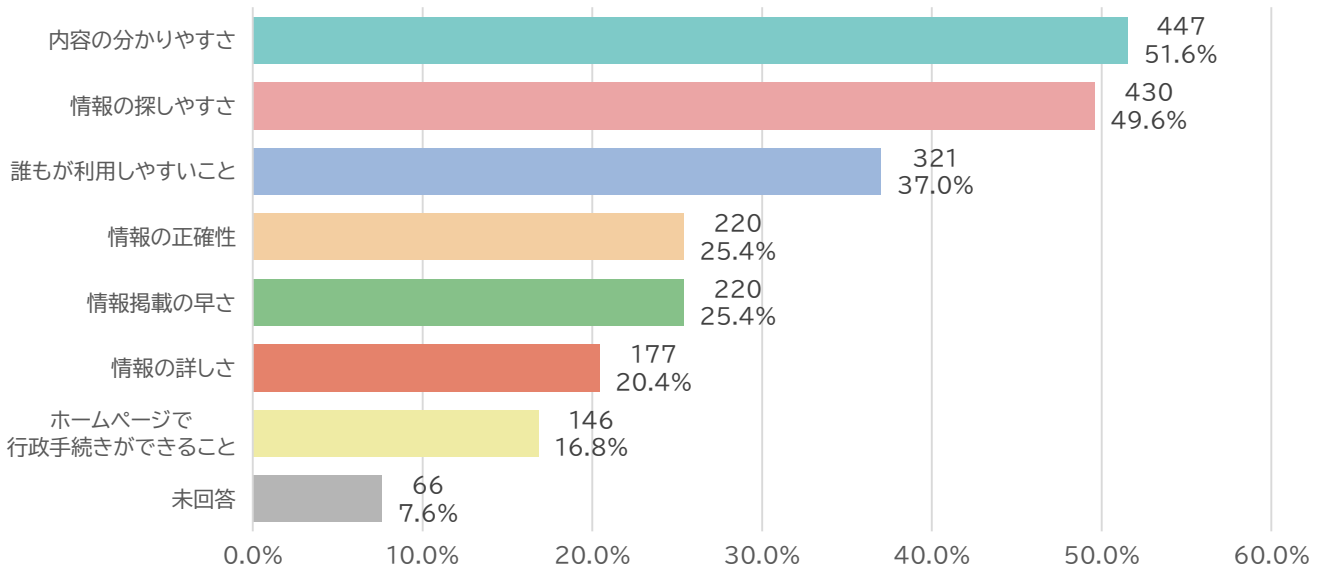


■ パソコン、スマートフォン、タブレットなどを持っていない ■ 必要な情報が見つからない ■ 市の情報を必要としていない ■ 未回答

問18. 今後、市のホームページに期待することは何ですか？  
 当てはまるものをいくつでも選択

n=867

- 「内容の分かりやすさ」447人（51.6%）と「情報の探しやすさ」430人（49.6%）が他の項目に比べて割合が高く、ともに約5割が回答した。
- いずれの年代においても、各項目の回答割合はおおよそ同程度となった。



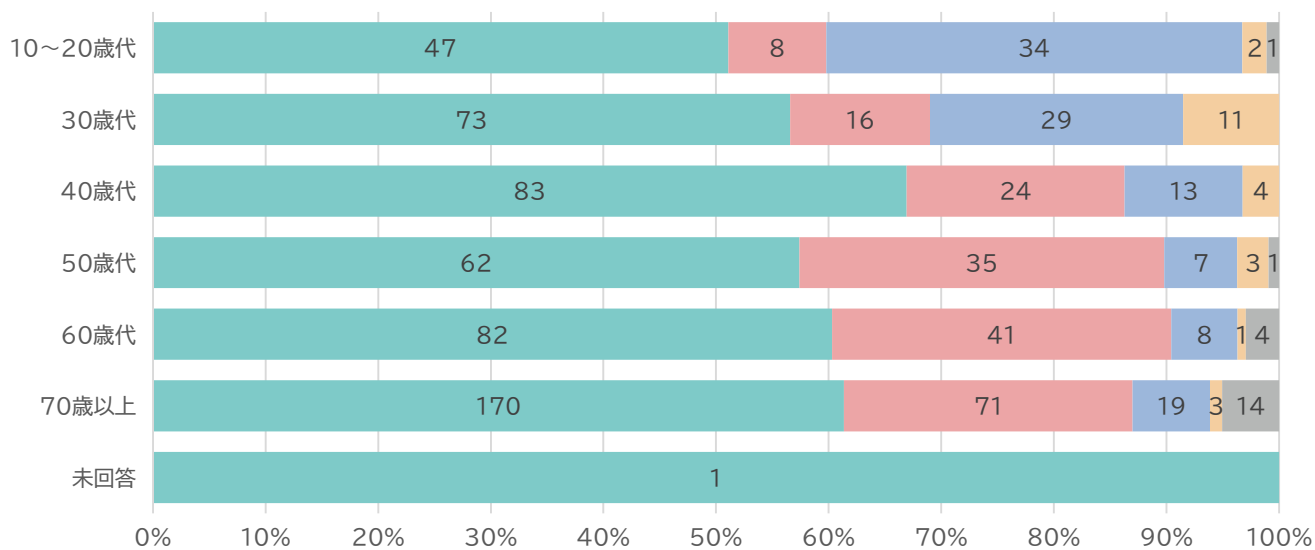
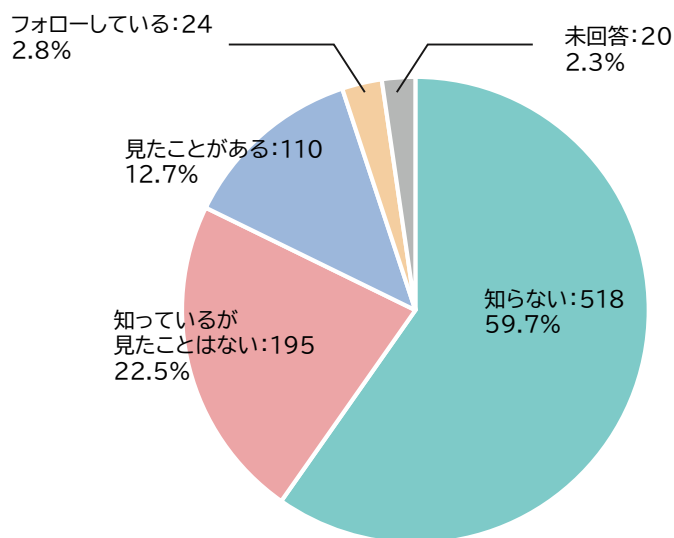
■ 内容の分かりやすさ   
 ■ 情報の探しやすさ   
 ■ 誰もが利用しやすいこと   
 ■ 情報の正確性   
 ■ 情報掲載の早さ  
■ 情報の詳しさ   
 ■ ホームページで行政手続きができること   
 ■ 未回答

## 諏訪市が運用するSNSについて

### 問19.諏訪市役所公式Facebookを知っていますか？

n=867

- 「知らない」518人（59.7%）が最も多く、他の項目を大きく上回った。
- いずれの年代においても「知らない」の割合が最も高かった。
- 10～30歳代では、「見たことがある」の割合が他の年代と比べ高く、「フォローしている」の割合は30歳代が最も高かった。

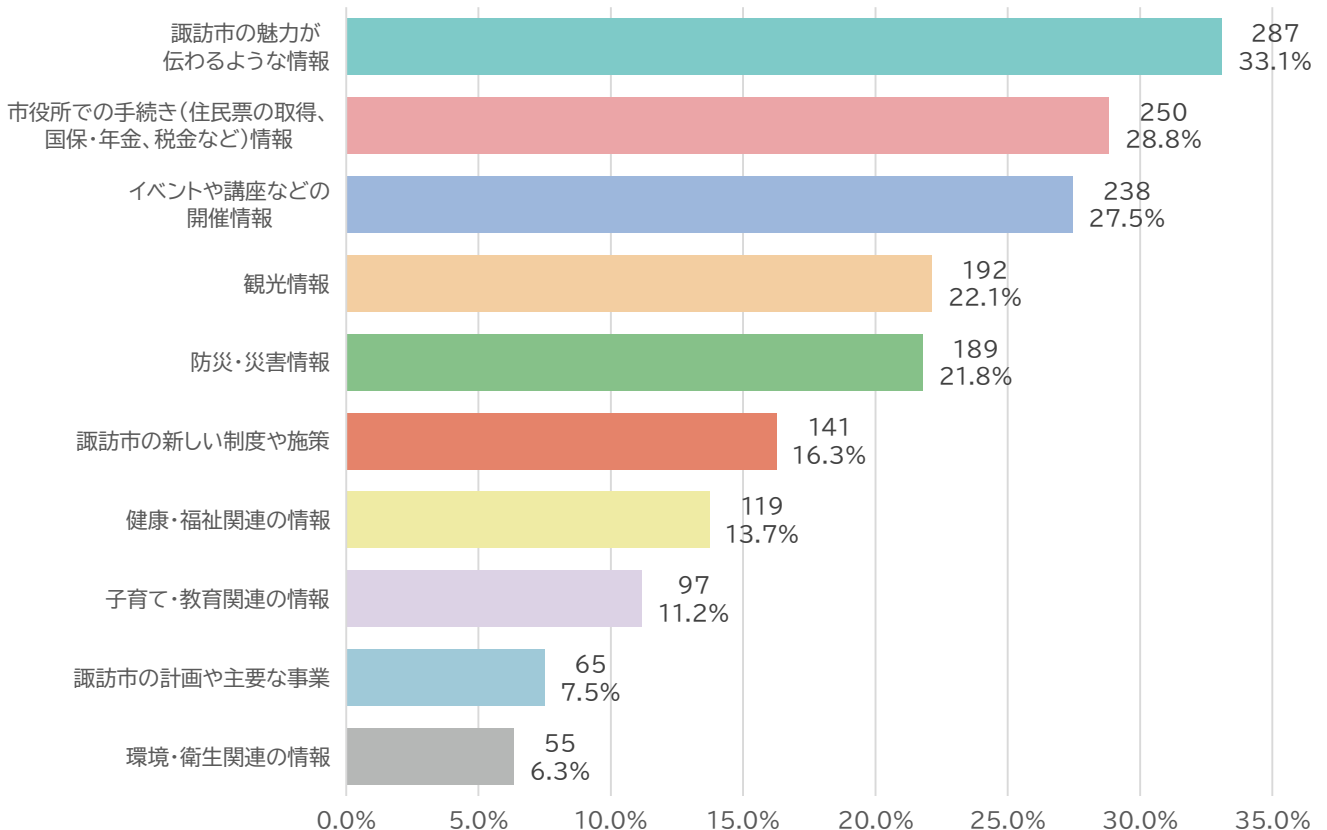


■知らない ■知っているが見たことはない ■見たことがある ■フォローしている ■未回答

問20.諏訪市役所公式Facebookでどのような情報を発信してほしいですか？  
当てはまるものを3つまで選択

n=867

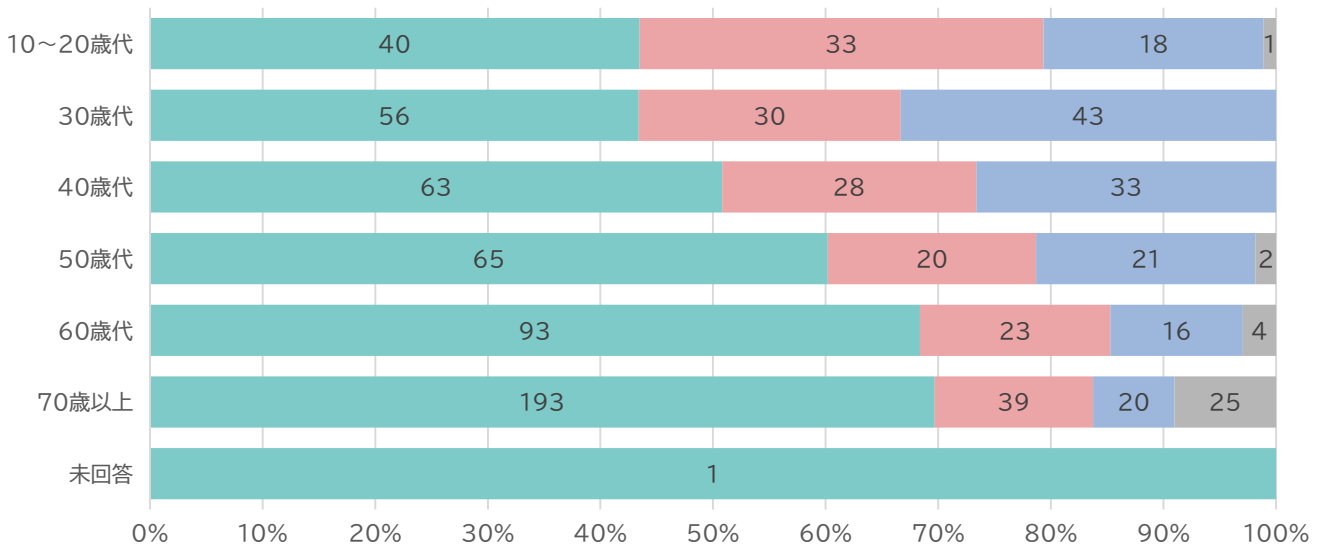
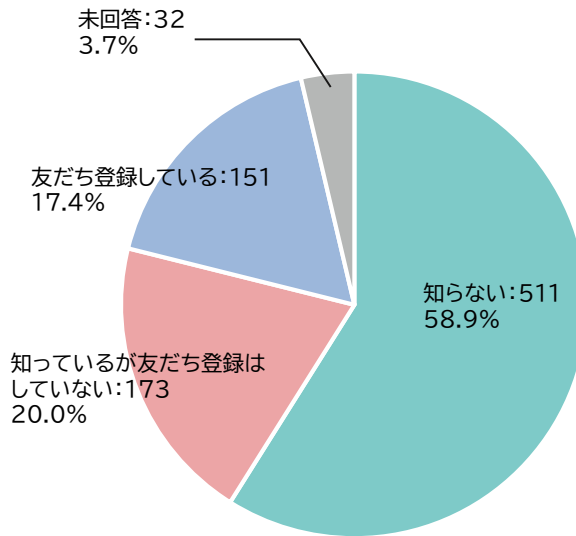
- 「諏訪市の魅力が伝わるような情報」287人（33.1%）が最も多く、次いで「市役所での手続き（住民票の取得、国保・年金、税金など）情報」250人（28.8%）、「イベントや講座などの開催情報」238人（27.5%）となった。
- 「諏訪市の魅力が伝わるような情報」は他の項目に比べて割合がやや高く、唯一3割を超えた。



## 問21.諏訪市LINE公式アカウントを知っていますか？

n=867

- 「知らない」511人（58.9%）が最も多く他の項目を大きく上回った。
- 30歳代～40歳代では、「友だち登録している」の割合が他の年代と比べて高かった。
- 認知度は若い年代ほど高く、10～30歳代で特に高い傾向にある。

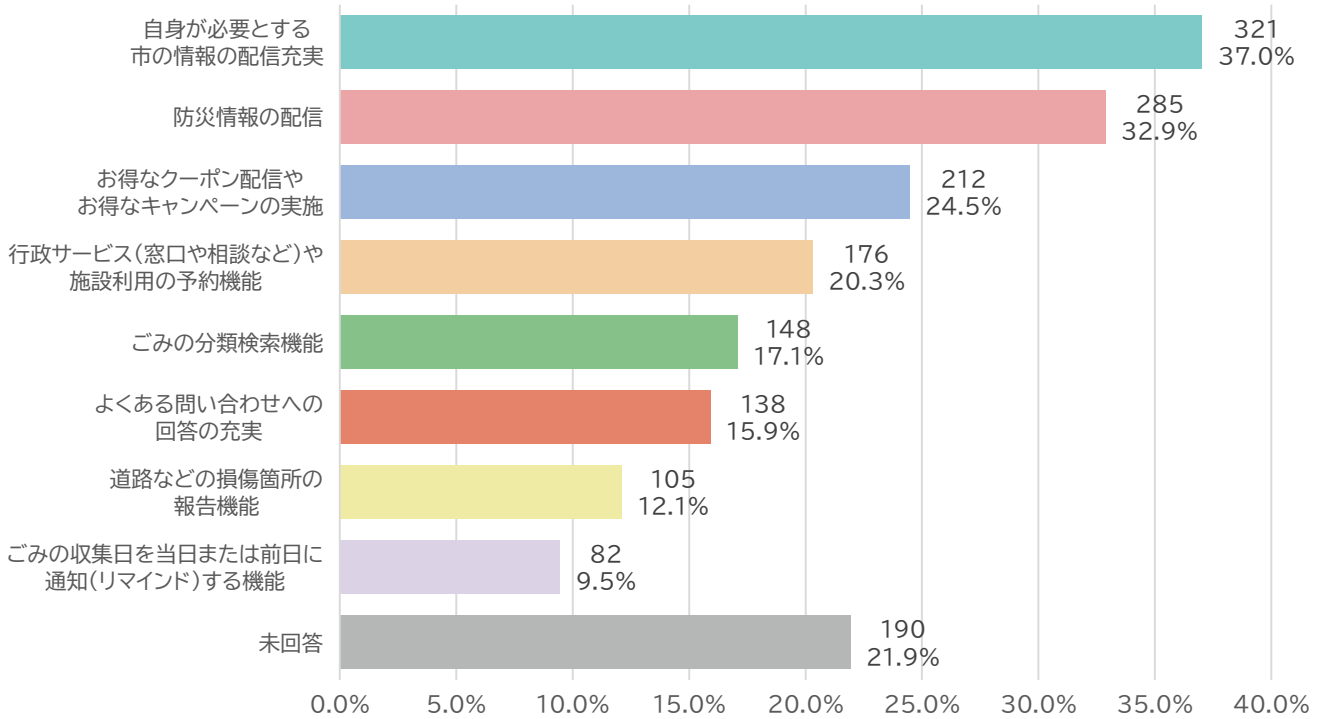


■ 知らない
 ■ 知っているが友だち登録はしていない
 ■ 友だち登録している
 ■ 未回答

問22.諏訪市LINE公式アカウントに期待するサービスはありますか？  
 当てはまるものを3つまで選択

n=867

- 「自身が必要とする市の情報の配信充実」321人（37.0%）が最も多く、次いで「防災情報の配信」285人（32.9%）、「お得なクーポン配信やお得なキャンペーンの実施」212人（24.5%）となった。
- 「自身が必要とする市の情報の配信充実」、「防災情報の配信」は他の項目に比べて割合が高く、特に「自身が必要とする市の情報の配信充実」は約4割が回答した。



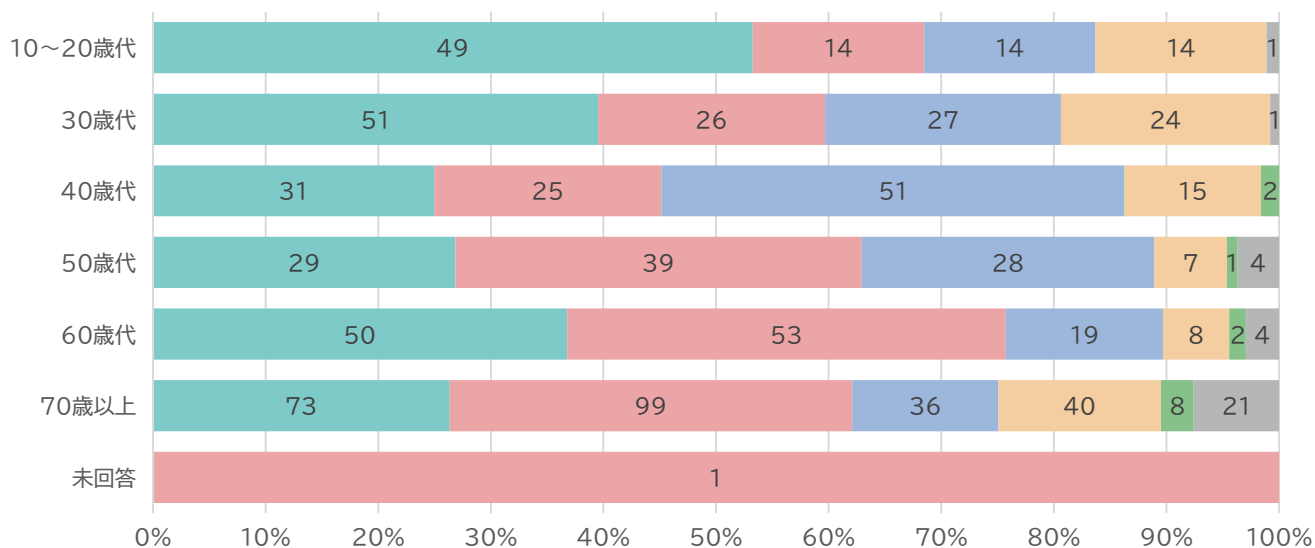
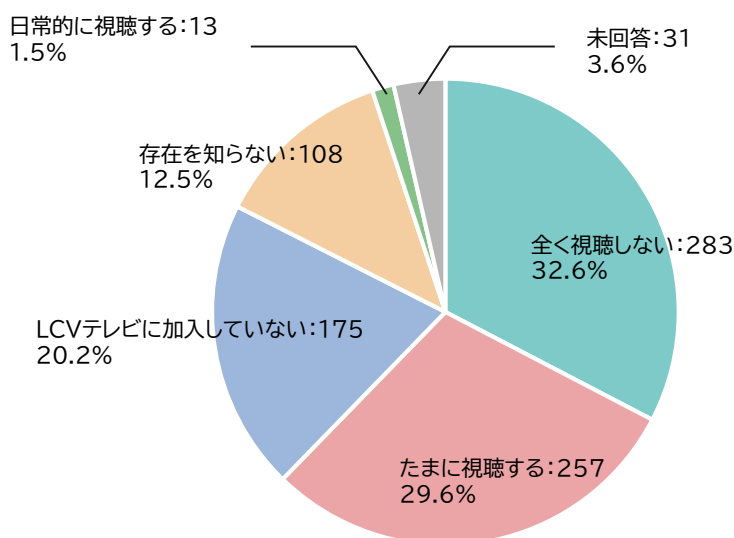


## 行政チャンネル「かりんちゃんねる」について

### 問23.LCVテレビ11チャンネルで放送中のかりんちゃんねるを視聴していますか？

n=867

- 「全く視聴しない」283人（32.6%）が最も多く、次いで「たまに視聴する」257人（29.6%）、  
「LCVテレビに加入していない」175人（20.2%）となった。
- 50歳代～70歳以上では「たまに視聴する」が最も高い割合となった。
- 40歳代では他の年代に比べて「LCVテレビに加入していない」の割合が高く、約4割を占めている。



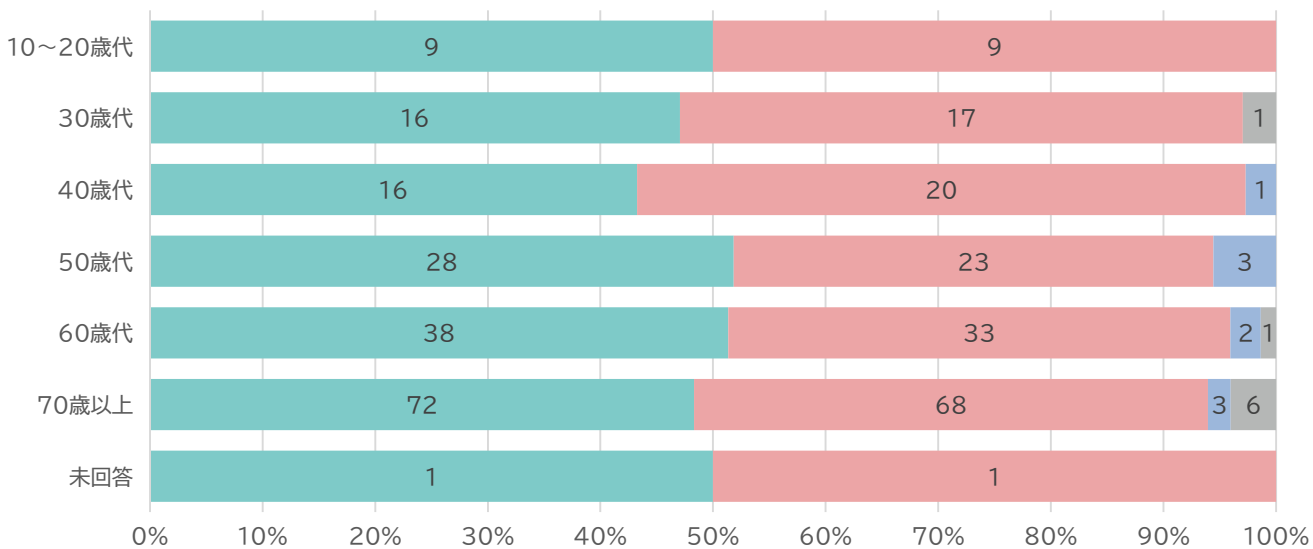
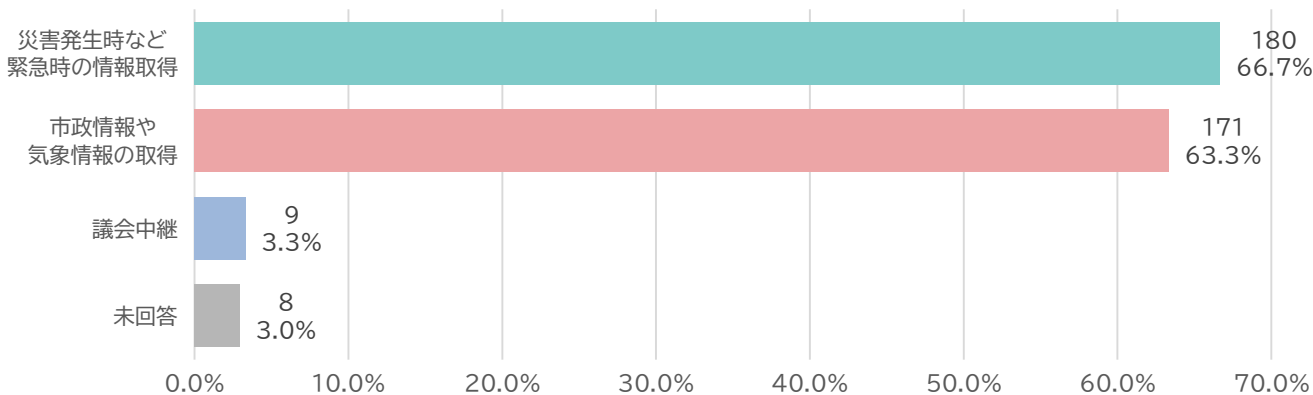
■ 全く視聴しない ■ たまに視聴する ■ LCVテレビに加入していない ■ 存在を知らない ■ 日常的に視聴する ■ 未回答

## 問24.かりんちゃんねるの視聴目的は何ですか？

当てはまるものをいくつでも選択

問23で、「日常的に視聴する」、「たまに視聴する」と回答した人 n=270

- 「災害発生時など緊急時の情報取得」180人（66.7%）と「市政情報や気象情報の取得」171人（63.3%）に回答が集中し、いずれも6割を超えた。
- 議会中継はほとんど視聴されていない。
- いずれの年代においても、各項目の回答割合はおおよそ同程度となった。



■災害発生時など緊急時の情報取得 ■市政情報や気象情報の取得 ■議会中継 ■未回答

## まとめ

### 情報の取得方法について

- 普段の情報取得手段、災害時の取得手段のいずれにおいても「テレビ」、「インターネット」は高い割合を占めた。年代が低いほど「インターネット」、「SNS」の割合が高くなりデジタルメディアの利用率の高さが見て取れる結果となった。一方で、年代が高いほど「テレビ」、「新聞」、「行政無線放送」といったインターネット環境がなくても利用できる媒体の割合が高かった。
- 市の情報の取得手段では、「広報紙「広報すわ」」が圧倒的に高い割合となった。一方で、若い世代では、「市のホームページ」、「SNS」の割合も高い傾向にあり、特に10～20歳代では「市のホームページ」が最も高い割合を占めた。
- 今後、デジタルメディアを活用した情報取得はさらに普及することが予想されるため、ホームページやSNSによる情報発信を充実させる必要がある。一方で、デジタルメディアに特化してしまうと年代が高い層に情報が届かない危険性がある。当面は、既存の広報媒体と両立した運用が求められる。

### 広報紙「広報すわ」について

- 年代による差はあるが「関心のある記事だけを読む」、「ほとんど全ての記事を読む」、「見出しや写真程度は見る」を合わせると約8割となり、多くの市民が広報すわを読んでいることを示す結果となった。
- 「読まない」割合は年代が低いほど高い傾向にあり、10～20歳代では約5割を占めた。
- 今後、広報すわを読みたい形式は「紙（現在のような冊子）」が最も多く、年代が高いほどその傾向にあった。一方で50歳代以下では、「ホームページやSNSなどで市の情報が取得できれば広報すわはなくてもよい」、「スマートフォンやタブレットのアプリ」、「市のホームページ（スマートフォンやパソコンなど）」を合わせた割合が、「紙（現在のような冊子）」を超えており、何らかの代替手段があれば紙媒体にこだわらないことが推察される。今後は、現状の広報すわを発行しつつ、ホームページやSNSによる情報発信の充実、アプリ等紙媒体にこだわらない広報すわの閲覧手段の拡充等を検討し、各世代に合わせた情報取得手段を整える必要がある。
- 毎戸配布を止めた場合を仮定した質問では、「家に配布されないのであれば読まない」と回答する人が約3割に上り、次いで多かったのは「区で閲覧されれば読む」となった。多くの市民に読まれている広報すわだが、市民が自主的に取得するのではなく、市民の手元に届くからこそ読まれている媒体ということを再認識する結果となった。

### 諏訪市ホームページについて

- 「内容によっては利用する」、「よく利用する」を合わせると約7割となり、多くの市民が市ホームページを利用していることを示す結果となった。
- 60歳代以上の利用率も高く、70歳以上においても「内容によっては利用する」、「よく利用する」を合わせると5割を超える人が市ホームページを利用しており、いずれの年代においても市ホームページを利用する人が利用しない人を上回っている。
- 市ホームページの利用者のうち、掲載している情報について「分かりやすい」、「とても分かりやすい」と回答した人は合わせて6割を超えた。一方で、「分かりにくい」、「とても分かりにくい」と回答した人は合わせて約3割おり、理由としては「説明が不足している」が最も多く、約4割であった。今後、市のホームページに期待することとしても「内容の分かりやすさ」の割合が最も高く5割を超えているため、全庁的な職員の意識啓発等を行い、より分かりやすい情報掲載を行っていく必要がある。
- 今後、市のホームページに期待することでは、「内容の分かりやすさ」に次いで「情報の探しやすさ」の割合も高く、約5割の回答があった。また、市ホームページを利用しない理由としても「必要な情報が見つからない」が約3割を占めている。利用しやすいホームページづくりを行う上で、「内容の分かりやすさ」同様に「情報の探しやすさ」にも重点的に取り組んでいく必要がある。

## 諏訪市が運用するSNSについて

- 市が運用するSNSのうち、今回の調査で対象としたFacebook、LINE共に、「知らない」の回答割合が約6割で、利用している人の割合を大きく上回った。年代別に見ても若い年代の利用率がやや高いものの、いずれの年代においても「知らない」の割合が最も高く、市公式SNSの利用者が少ないことを示す結果となった。
- Facebook、LINEのいずれにおいても、「知っているが利用していない」の回答割合が約2割あった。今後は、市公式SNSを「知らない層」の認知度向上を図るとともに、市民が求める情報発信を行い「知っているが利用していない層」に利用してもらえるよう努めていく。

## 行政チャンネル「かりんちゃんねる」について

- 「たまに視聴する」、「日常的に視聴する」を合わせた割合が約3割なのに対し、「全く視聴しない」、「LCVテレビに加入していない」、「存在を知らない」を合わせた割合は6割以上になり、多くの人がかりんちゃんねるを視聴していないことを示す結果となった。
- 視聴目的としては「災害発生時など緊急時の情報取得」が最も高かった。問2の「災害時の情報取得手段」の中でも「テレビ」は最も高い割合を占めており、視聴者を増やすために、災害時の情報取得手段としての側面を強調した広報も有効だと考えられる。
- かりんちゃんねるの運用に当たっては、更改のタイミングで都度その必要性を検討する。

- ・ 問25の自由記載欄に寄せられた内容を、項目ごとまとめたものです。
- ・ 原則、原文のまま掲載しています。
- ・ 本調査と関係のない内容のものや、内容が不明確なものに関しては掲載していません。

## 情報発信全般について

- ・ 知的情報を受けるいちばん遠くに居る人をおいて、その人にどう伝えたらよいかを考えて、広報を発信していただきたい。
- ・ 高齢者福祉について、市民の助けになる様な事をもう少し周知してほしい。
- ・ 災害時のスムーズな連絡方法を徹底してほしい。
- ・ 町内会の回覧板もデジタル化した方がいいと思います。
- ・ もっと魅力ある広報を。
- ・ パソコン・スマートフォン・タブレットを持たない者、あるいは持っても使いこなせない者にも、市政が平等に、わかり安く、確実に伝えていただきたいように！！
- ・ 情報について遅れすぎ。担当者の力量をうたがう。もっとIoTを導入すべき。時代遅れもはなはだし。もっと勉強して欲しい。
- ・ すべての人がパソコンやスマホを持っている訳ではありません。使うことが出来ない人がゼロになることはないと言うことを頭の上において物事を進めて下さい。
- ・ これから高齢化社会がなお一層進む。若者の意見を多く取り入れ、なお且高齢者に対してもデジタル化でなくなるべくアナログで情報発信して頂きたい。
- ・ LCVにたよらず、行政独自の情報発信（HPや検索機能）や情報手取できるものが欲しいです。
- ・ 諏訪市だけでなく、隣接市町村の主なイベント等の情報が解かるとうれしいです。
- ・ AIやSNSが急速に発達している昨今ですが、やはり年配者としてはあまりに速い情報発信についていくのは大変です。フェイスブック、ライン等の市のページは使ったことはありません。私としては、まだまだアナログ的な今の市報（紙面）の役割は大きく、紙の広報はこれからも必要だと思います。紙ベースも確かに費用は要するも、温か味があって良いものと思っていますし、作成・発注する側の気持、心が感じられて良い。特にOAetcにうとい、又、敬遠しがちな高令者も大切に扱ってくださいね。文明・最新のツールに頼り過ぎる為に、それによる事故・事件が増加しており、安全、安心、スローライフも何如ですか。古き良き物との時代の流れとのマッチングの手法が大切だと考えますが。まちづくり、都市づくりも。
- ・ 高令化社会の中で毎日の生活に新しい、カタカナ言葉が増えたりスマホの活用や、ITの関連の内容は分からない。広報等、英字に（日本語）をつけてもらいたい。
- ・ 市の情報等活字で読めるものにして下さい。インターネット、メール、スマートフォン等でない方法。
- ・ 電子化を行い、紙はなくしていくべき。SNSに税金を使うことはムダだと思う。職員は、他のことに力を入れるべき。（花の開花情報を更新するほど、市の職員はヒマなのか。）LINEを行政利用したくはない。個人情報情報を市に提供したくない。そもそも市の対応が遅いので、何も伝える気がなくなる。
- ・ 分かりやすく、誰でも情報が簡単に手に入るようにしてほしい。
- ・ 広報誌のデジタル化もよいですが、デジタルデバイスを持たない、使えない高齢者やその他の人のフォローが必須です。「買わせる」のではなく、市内のWi-Fi環境の整備や中古でよいのでiPadなどのデバイスを提供、またはレンタルするなどが必要と思います。1,000万円年間あれば全然まかなえるのではないのでしょうか。（印刷+配布）デジタルの弱者を置いていくことのないようにお願いします。
- ・ 新聞のように文字を大きく掲載する内容もページ毎にしてあれば高令者にも読みやすく、又、福祉、議会等もまとめてあると、いいかと思えます。Facebook、LINEなどの機器を、所持しない人や、利用できない人もいるので無線の活用としては・・・。機器を高令者の希望者に貸与するとか・・・。
- ・ ケイタイもパソコンも使っていないので他の事で知らせてほしいです。
- ・ もっとわかりやすく。かんたんな言葉でお願いします。
- ・ もっと積極的に情報発信するべきだと思う。
- ・ 防災、防犯情報が少なく発表も遅い気がします。
- ・ 生活の補助になる有効な情報を複数のメディアで配信してほしい。

- 広報は自己満足になっており機能を満たしていない。紙面の配布にお金をかけ過ぎだが、流行りに乗ってFacebook、LINEで対応は場当たりの。もう少し正しく情報を広めるために何をすべきか考えるべき。
- 情報の発信は、難しいものですが、担当者の方々、頑張ってよろしくをお願いします。
- スマート化を進めて欲しい。回覧板もLINEなどにすれば良いと思う。
- 防災に関しては時間が勝負なので引き続き頑張ってもらいたい。居住地区が防災放送が聞き取りにくい（スピーカーが遠い）のでMailでの内容配信は大変助かっている。防災放送と同時にメールを検索しても確実に情報が取れるので大変良いと思う。

## 広報紙「広報すわ」について

- ・市の広報は、やはり今のままの（紙）形式が良いと思います。お金はかかるとは思いますが毎月楽しみにしている人が多いし、市民の生活には必要であると思います。（SNSでは無理がある）
- ・今はネットの時代だから「公報すわ」も必要ですという家庭のみ配布しほかの人はホームページで検索する様にしたら印刷代も安くなると思います。
- ・よこ文字が多すぎる。中学2年生が理解できる内容に。
- ・広報すわが入らなければ、わざわざ読むことはなくなるけど、回覧されるならいいと思います。若い人はそもそも読まない。
- ・今の時代、SNSを利用した速やかな情報発信が求められているのは理解できるが、そうしたものを使わない人にも、しっかりと情報を伝える必要があり、「広報すわ」は引き続き充実させ、発行してほしい。
- ・広報すわは、諏訪市外から引越してきた時より愛読しています。検索は自分の興味のあるものしか探さないのに対して、広報すわは、諏訪市内全てが手に取って読めるので、いつでも細かい情報まで得られる安心感がありました。又、子育てしてきたうえでもとても役立ちました。紙面で知ったから更に検索していたのであって、SNSだけになったら知らないから検索する事もたぶん無くなり、かなり困った状態になってから市役所へ相談に行く事が増えるかと思っています。お金がかかる事も読まない人がいるのも分かりますが、できれば「広報すわ」残こして欲しいです。「をかし祭り」で色々なお店を知り、買いまくりました。こういうイベントをもっとやって欲しいし広報すわで教えてほしいです。
- ・広報すわで年間497万円はムダ区回覧板にすればよい。捨てるのにも大変。
- ・1（広報の内容）縮小一厳選 2（情報受注できる時代広報（金縮）拡大不要
- ・広報すわにこんなにお金がかかっていることを知らずにびっくりした。広報すわでイベント情報をチェックするが、家にとどかなければ、無理して、インターネットでさがさない。
- ・広報はあってもよいと思いますが、配布にかかる額が高すぎると思います。ペーパーレスを進め、人件費を削減するなど、できるところで節約してほしいです。
- ・パソコン、スマートフォンを使いこなせない老人には、新聞、TV、広報が重要な情報源です。身近な広報（印刷代がかかっても）はなくさないで頂きたいと思います。よろしくお願い致します。
- ・80才すぎるとインターネット、SNSやいろいろな新しい事が理解出来ません。もう何年生きられるのかわかりませんが今の紙の市報を楽しみに全部見てます。住み良い諏訪市にさせていただいても嬉しいですが「広報すわ」は続けて紙にして下さいネ！
- ・広報の印刷・配布に1,000万円以上費用がかかることをはじめて知りました。この時代、ぜひSNSやアプリ等を使っていくべきだと強く思いました。費用の削減はもちろん、紙の無駄もなくなりSDGsにもつながりますし、時代に合う市政に期待しております。
- ・広報すわを配布を今まで通り配布してもらえないと、大変こまります。足も悪くても毎月たよりにしています。
- ・広報すわ、想像以上に費用がかかっているのですね。配付して頂けたら読むのですが…。
- ・市の広報を含め、同時配布物を合わせれば約50ページ（毎月）。情報過多です。全部を含めて、月に1~2ページに集約して下さい。（最重要課題のみでOK!）
- ・広報すわについては、情報ツールとして毎月しっかり読んでます。工夫されていてありがたいと思っています。デジタルで読むと記憶に残らないので、紙で読みたいと私は思います。
- ・老人にはスマートホンも使えず、市報だけが便りです。住みづらい時代になりました。80才老人です。
- ・広報すわにお金がかかっていることは分かっているが、文章でいただくのが一番理解できる。
- ・広報すわは、回覧板でいいと思います。
- ・広報誌の配布が、当月に入ってから数日後になる事があり、月初めの行事や催物に参加出来なかったり、申し込みが間に合わない時があるので、遅くとも月が変わる5日位前に配布していただければというご配慮願いたい。広報誌に広告欄を設け、広告収入を広報誌の印刷や配布費用の一助としてはどうでしょうか。
- ・広報すわが配布されない。以前は配布されたのに。
- ・発行していれば仕事をしていると思うことはおかしい。市民が本当にほしがっている情報をみつけてのせるべきだ。
- ・表紙は、安易な子供ではなく、当月の行事や祭事の（以前）写真で紹介して欲しい。平成23年の4月号、東日本震災の支援は、誇らしかった。
- ・広報すわは紙配布を希望する人のみに配布する形式にして、経費削減をして欲しい。議会報告書も同じ。

- 老人はスマホとか持っていない人が多いので広報希望する世帯には配布して欲しいです。
- 広報にのっているレシピはよく活用しています。
- 問8、問9、広報すわ、とても役に立っています。スマホでも見る事ができるのでありがたいですが、お年寄りなどにはとても見るのに大変です。実際に母も読ませたことはあるが、文字を送ってみるのは大変そうでした。印刷代に多額の費用がかかっているのはわかります。が、現在のまま冊子で頂けるととても助かるし、月の頭だとかくにんすることができます。お年よりは、それでかくにんしている人もいると思う。ぷらざと一緒に投かんしてくれるので・・・。冊子は、なくさないでほしいです。
- 持ち歩きできて、公報誌が大切な生活の一部です。LCVテレビ11を利用してみる。
- 広報すわの年間の印刷費に驚きました…。確かにお年寄りの方は紙がいいかなとは思いますが…、茅野市のように保育園を新しくしたりしてほしいなと思いました。
- 紙の広報、回覧板は不要です。スマホで見られれば良い。環境にもやさしい。
- スマホから情報収集できるので、紙の広報はいらない。デジタル化を進めてほしい。
- 個人的に広報すわは読みやすく好きなのですが、印刷費に莫大なお金がかかっていることを考えると個人の家配布するのはやめていったほうが良いかもしれないと感じました。読みたい人が読みたいときにコンビニやお店にもらいに行く感じに変えていっても良いような気がしています。私は、まだ広報すわを読みたいので、できる範囲でこれからも続けていってくださいね。
- 紙の広報はいらない。インターネットで充分。
- 広報担当者の熱量やセンスによって、見やすさなどが左右されるため、担当者様は大変かと思いますが、読めば一生懸命さは伝わるため、これからも頑張ってください。
- 広報誌も結構お金がかかっているということがこの調査で知ることができました。
- 広報、毎月楽しみにしています。諏訪に越してきてすぐコロナ禍になってしまい、なかなか情報が得にくく、とても活用しています。
- 今月から市報が変わり、見やすくなったように思います。色も綺麗で、わかりやすいです。年齢的に、行事などの情報はあまり身近ではありませんが、必ず全部見えています。タブレットやスマホで見られるようになることは大歓迎です。
- 広報誌は財源の無駄遣いだと思います。私の家では即資源ごみとなります。そこに費用をあてるのであれば、もっと市民の生活が経済的な面で豊かになるように使ってほしいです。広報誌では何も潤いません。



- 問15に関して、Google検索で検索するとほとんどのページが削除されていて見れない。イベント翌日にはHPから削除はおかしい。広報にインスタの追加を！あとツイッター。
- 諏訪市のHPを利用しますが、記載されている事その先を知りたいのに、“担当課に連絡を”となっている。各課との情報交換を密にして、HPの充実を図ってください。
- インターネットを自由に使いこなせない人も、多いのでは。
- 19問 公式Facebookって何ですか公式ホームページの事ですか？
- 他の市役所に勤務している者です。諏訪市のホームページは見やすく、わかりやすくとても役に立つことが多く、一市民として助かってます。諏訪は素晴らしい町です。いつもありがとうございます。
- 乳児がいるので保育園の情報を探すのですが、手続きや保育料の情報が少なくわかりづらいです。入園準備のことものっているると早めに準備できるのでうれしいです。
- HPが古く、わかりづらい&とっても見にくい。情報発信が遅い。何の為に作った？と思うことも。特に長野県知事選挙や諏訪市長の速報やリアルタイムなどなど。文字が多く伝えたい部分が伝わらない（HPや紙、LINEもそう）
- 問14～16に関連 市のホームページの検索ボックスの機能が低すぎて、検索しても欲しい情報が出てこないことがよくあった。
- 情報取得手段として、インターネット等を利用する時代に来ていると思うが、高齢者の使用していない者に対する対応も十分に検討の上で進行していく事を要望します。
- ホームページは見にくく、目的のページにたどりつきません。
- 今の時代情報を得るのは、ネット、スマホなどからデジタル化を国も進めていくのは仕方ないと承知しています。でもそういう設備がない世帯も有ります。せめて市はそういう弱者にもよりそって欲しいです。役所へ行って書類取るのもネットからでもと窓口で言われ、そういう設備なしと言うと、少しバカにされた対応をとられました。市からの情報こそ弱者に届くべきだと思います。
- 市ホームページが変わってからリンクから各小学校のページにとべなくなり使いづらくなった。学校ブログももっと読みたい。
- 年配の方々はインターネットなどの操作ができないので、お年寄りが困らないような情報の発信をお願いします。
- インターネット利用は、セキュリティの高さが重要。
- 最新の情報を早く出して欲しい。検索しても古い情報が出て来て困る。
- ホームページを見ても知りたい情報が載っていないことが多い。（市民課での手続きの方法など）
- ホームページの最初の画面が、必要な情報を検索しづらい、変更希望。
- HPでの情報を取りにくいと思う事が何度もある。他でも一回ですっきりと情報が取れないことがある。何故なのか？専門家を加えてよく検証して欲しい。直感的に確実に情報が取れるようにしてもらいたい。具体的だが衛生環境に限る事ではないが一つはポータルサイトでより明確に各項目を差別化したほうが良い。また、フリー検索を充実させ、サイト内での全ての情報を新旧問わず取れるようにした方が良い。

## SNSについて

- Facebook・LINEを使用するようにします。紙はムダだと思う。
- SNS等だと1人暮らしの老人やアナログの人にはついていけない。とりのこされたかんじがする
- 今時Facebookはやめてほしい。そもそも使っている人もいないしFacebookは情報の更新もみづらいし、さがしづらい。系統だっていないので市の情報を発信するメディアには向いていない。HP等のスムーズな更新で十分。むしろFacebookはやめるべき。
- 諏訪市公式LINEから霧ヶ峰の火災情報やJアラートが届いたので良かったです。公式LINEから広報すわへリンクができるようになったら良いのではないかと思います。
- 市役所が公式にLINEを使用している事に情報管理の姿勢に疑問を感じる。
- Facebookでの情報発信では、閲覧する年代が限られてしまうと思います。どんな情報を、何のために、誰に発信するのか、目的によって、情報発信手段を考える必要があると思います。
- Facebookは自分がアカウントを持っていないと見づらいです。

## 行政チャンネル「かりんちゃんねる」について

- 事象の発生や災害の情報を得るために「LCVのSUWA cityおしらせ」を観ています。そこに公報すわの放送内容よく聞き取れない為、主なおしらせをのせてください。次にもっとくわしく知る事に、ホームページで調べてゆきます。
- かりんちゃんねるの情報が遅過ぎる。先日の霧ヶ峰の山火事について情報を得たかったが役に立たなかった。

## 防災行政無線放送について

- 防災行政無線放送が聞こえない場所にあります。高齢の両親にインターネットを開ける技術はないので、もしもの時は不安があります。
- 広報がアナウンスされているが、よく聞こえないので、ホームページでも同時に内容を伝えてくれるといいと思うことがあります。
- 防災行政無線放送がほとんど聞きとれない。
- 市政や警察からのお知らせ放送は聞くと気を付けないと思います。
- 防災無線のスピーカーを増やして欲しい。有賀の地区等において聞き取りづらい。

## その他

- 諏訪に住んで、1年経っていないので、よく分からない事ばかりです。
- アピールが足りない。もっと発信すべき
- 高齢世帯、外国人の方が増え、回覧板の困難さがあります。回るのが遅くて、情報が日時を超過したりもあります。